



i kitchen.jp[®]

PALETTE

i kitchen.jp[®]

PALETTE
METAL

取付・設置説明書

もくじ

安全上のご注意	1 ~ 2
取付・設置前の確認	2
ユニット構成図	3 ~ 4
取付桟位置	5
取付・設置作業手順	5
$t = 20\text{mm}$ 壁面固定用スペーサーの取付け	6
$t = 18\text{mm}$ スペーサーの取付け	7
$t = 20\text{mm}$ 補助板の取付け	8
アジャスターの取付け	9 ~ 10
転倒防止部品の取付け	11
フロアユニットの取付け	12 ~ 14
フロントパネルの取付け	15 ~ 18
サイドパネルの取付け	19
ワークトップの取付け	20 ~ 21
配管前の準備	22
排水管の配管	22
配管カバー、水栓の取付け	22
引出しの取り外し、取付け	23
引出し前板の調整	24 ~ 25

【オプション】

ステンレス配管カバーの取付け	26
排水隠しカバーの取付け	27
プルオープン食器洗い乾燥機ユニット配管隠しカバーの取付け	28
分岐ヘッダ止水栓の取付け	29
リカバリータンクの取付け	30
クロスギャラリーの取付け	31
照明器具・照明カバー [ステンレス製] の取付け	32
取付・設置後の点検・清掃・養生	32
ホルムアルデヒド発散区分／VOC放散性能	33

安全上のご注意

必ずお守りください

取付・設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく行ってください。

■表示内容を無視して誤った取付・設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
 注意	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
	この図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

■取付・設置完了後、説明書の内容に従って各部の点検を行い、異常の無いことを確かめてください。

■本体に同梱されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。

紛失や、汚れが生じないように大切に保管し、取付・設置完了後、お引き渡し時にお客様へお渡しください。

⚠ 警告

ステンレス製品を取り扱う時は、必ず保護手袋をしてください。



切断面に触ると、ケガをする恐れがあります。

ウォールユニットおよびキッチンパーツの取付・設置は、建築壁の構造を確かめて正しく行ってください。



落下して、ケガをする恐れがあります。

電気工事・ガス工事・水道工事は、関連する法令・規程に従って、必ず「有資格者」が行ってください。



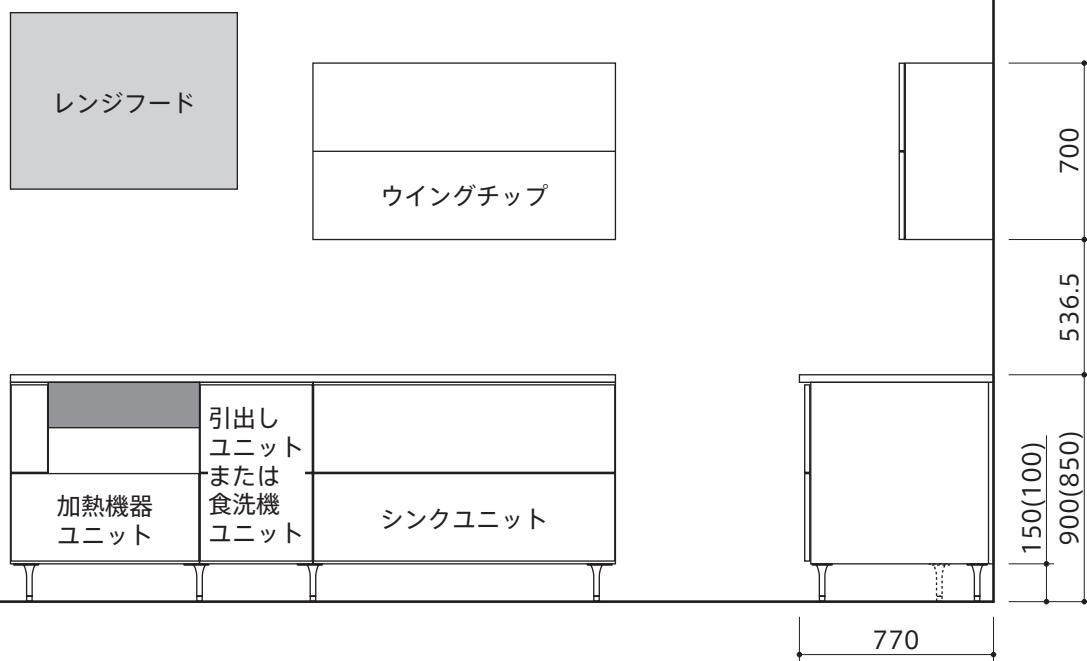
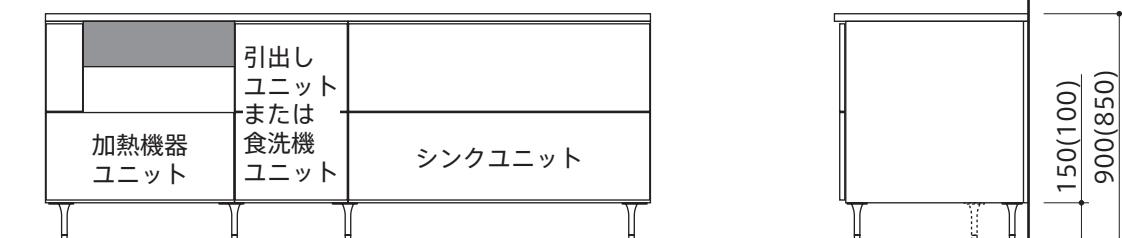
火災、感電、ガス漏れ、水漏れの原因になることがあります。

ユニット構成図 (i-kitchen PALETTEの場合)

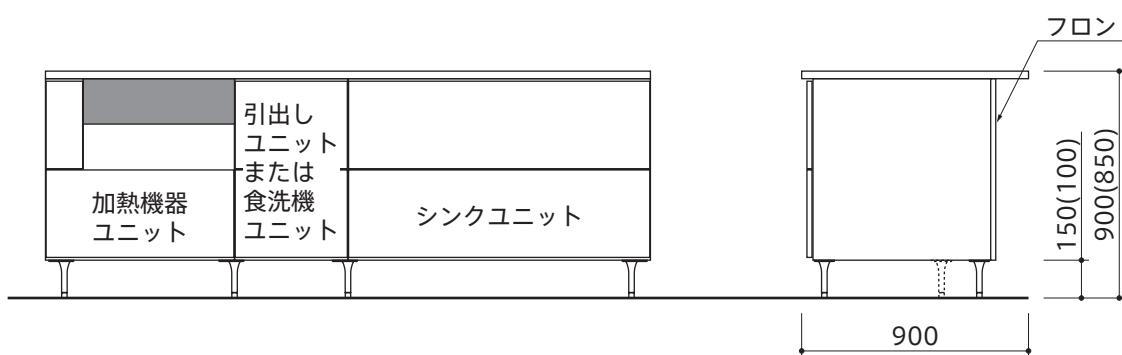
※()内寸法は、A F仕様【H=100】の場合を示す。

※イラストは、右シンク仕様を示し、左シンク仕様は対称とする。

【オンウォールタイプ】



【アイランドタイプ、ペニンシュラタイプ】

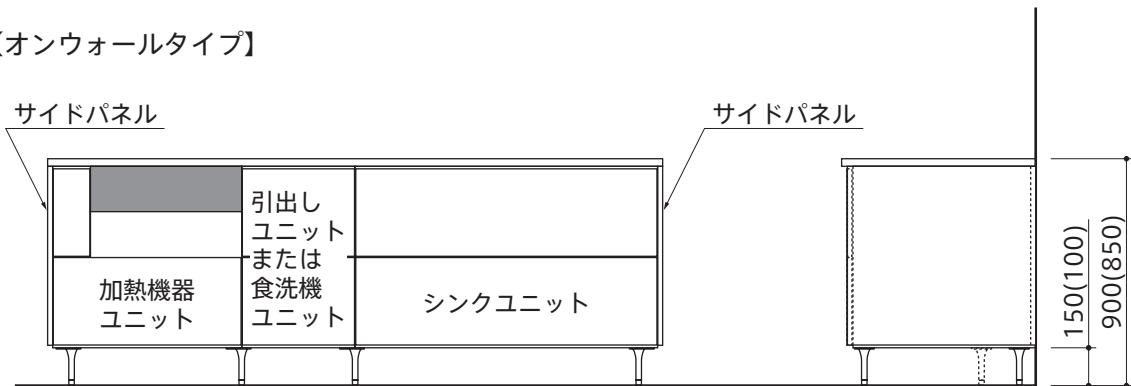


ユニット構成図 (i-kitchen PALETTE METALの場合)

※()内寸法は、AF仕様【H=100】の場合を示す。

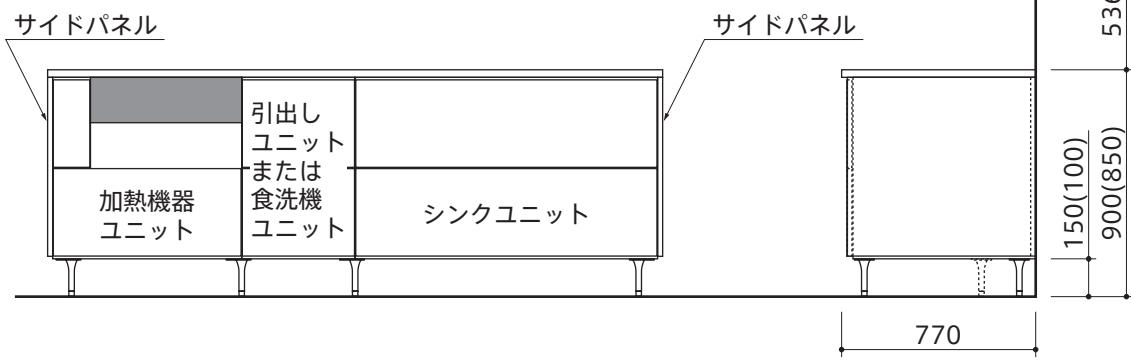
※イラストは、右シンク仕様を示し、左シンク仕様は対称とする。

【オンウォールタイプ】

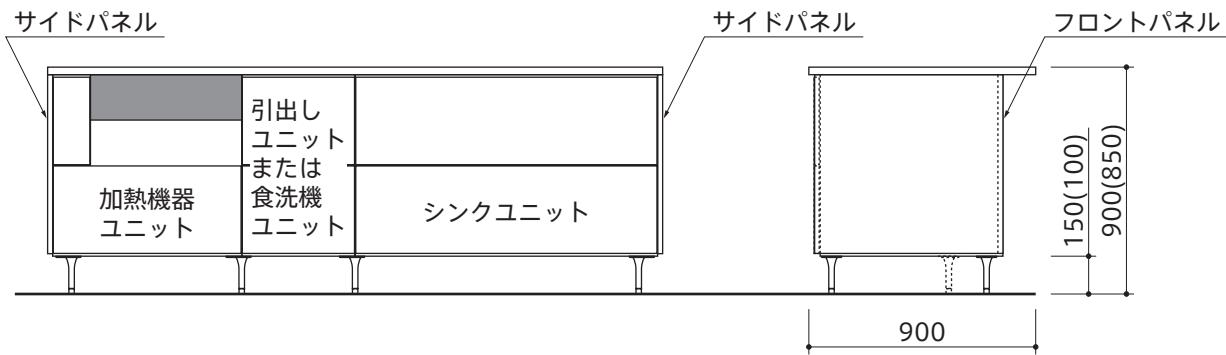


レンジフード

ウイングチップ



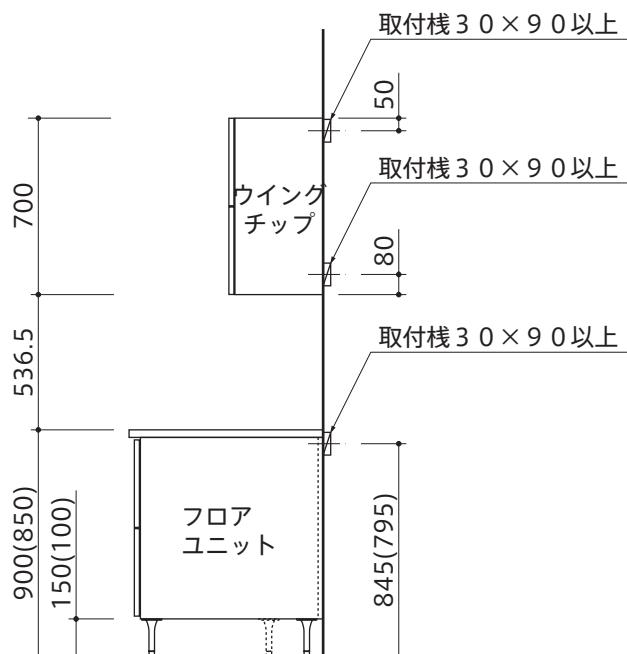
【アイランドタイプ、ペニンシュラタイプ】



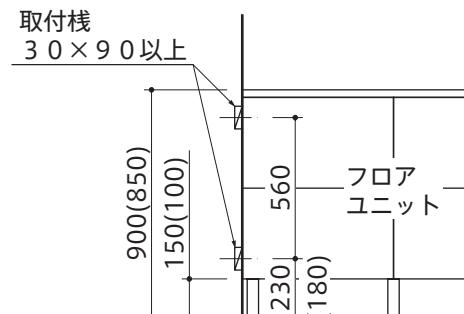
取付棟位置

※ () 内寸法は、A F 仕様 【H=100】 の場合を示す。

【オンウォールタイプ】



【ペニンシュラタイプ】



取付・設置作業手順

1. 取付・設置面のレベル出しを行う。
壁の背面、側面に対し、下げる振りによりレベル出しを行う。
(水平、垂直、壁の倒れをパッキン材で補正する。)
床面に対してもレベル出しを行い、一番高い所をチェックし、そこを基準で壁背面にフロアユニットの間口分に対し、H=870 (A F 仕様 【H=100】 の場合H=820) の墨出しをする。
(これが全ての取付基準になる。)
尚、壁背面側面はあらかじめ12mm以上のコンパネ貼りを指示しておくのが望ましい。
2. オンウォールタイプの場合、壁面にt=20mm壁面固定用スペーサーを取付け、フロアユニット背面にt=18mmスペーサーを取付ける。
3. オンウォールタイプの場合、t=20mm補助板を取付ける。 (i-kitchen PALETTEの場合のみ)
4. フロアユニットを取付ける。
アジャスターをユニットに取付け、ユニットひとつひとつの前面に対し、水平をみながら壁側より取付けセットしていく。(1ユニットごとに連結していく。)
オンウォールタイプ、ペニンシュラタイプの場合、設置後、壁面に固定する。
5. アイランドタイプ、ペニンシュラタイプの場合、フロントパネルを取付ける。
6. サイドパネルを取付ける。 (i-kitchen PALETTE METALの場合のみ)
7. ワークトップを取付け、加熱機器をセット固定する。
仕上がり後、ダンボール等でワークトップを養生し、上部の取付けを始める。
8. ウォールユニット (ウイングチップ) を取付ける。
- ※ ウイングチップの取付けについては、付属の「取扱説明書、取付・設置説明書」を参照してください。
1でレベル出しをした壁側より、水平垂直のレベルを見ながら取付ける。
その時レンジフードも取付ける。
9. 水栓、排水栓を取付ける。
10. 扉、引出し前板の調整を行う。

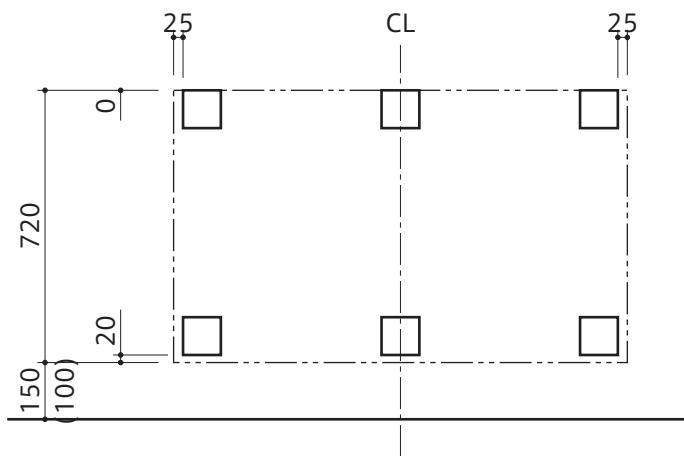
t = 20 mm壁面固定用スペーサーの取付け

※D=770オンウォールタイプの場合、t = 20 mm壁面固定用スペーサー（付属）を取付けてください。

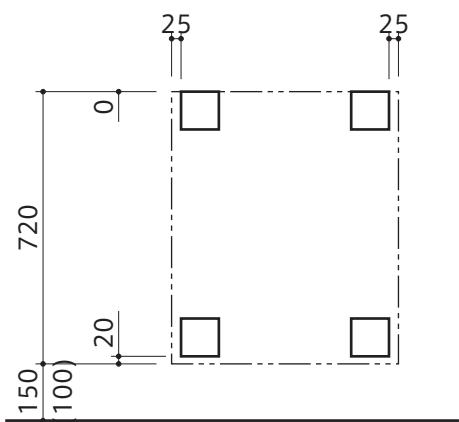
- ・ t = 20 mm壁面固定用スペーサー（付属）に
Φ4.5の穴（各2ヶ所）をあけ、各ユニット
取付位置の壁面に取付けます。
壁面の指定位置に⊕ハイロラッパネジ4.2×
42（各2本）にて固定します。

■ t = 20 mm壁面固定用スペーサー取付位置（正面図）

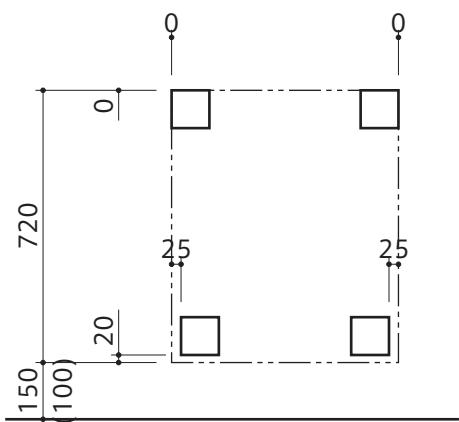
シンクユニット



引出しユニット、加熱機器ユニット

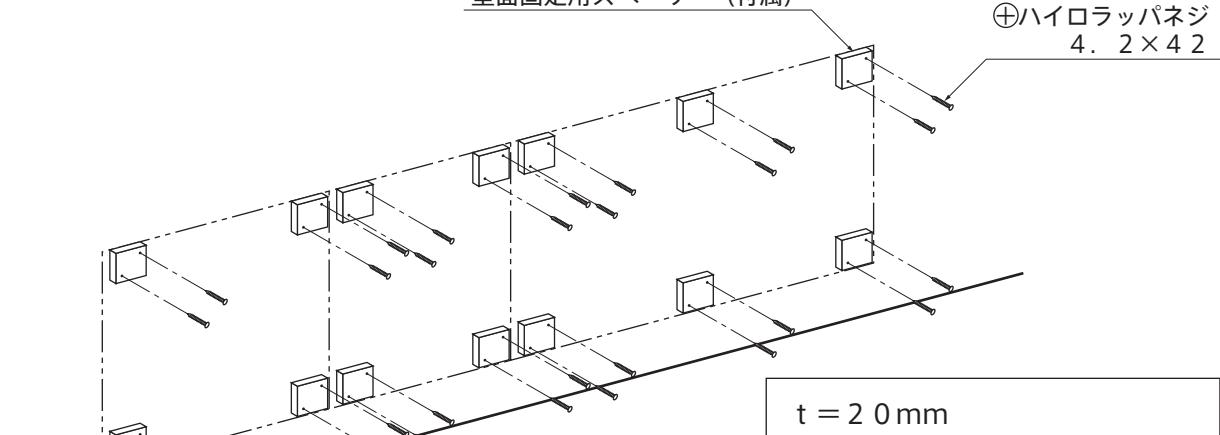


食洗機ユニット

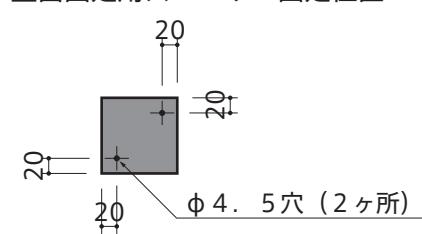


※（ ）内寸法は、A F仕様【H=100】の場合を示す。

t = 20 mm 壁面固定用スペーサー（付属）



t = 20 mm 壁面固定用スペーサー固定位置



$t = 18\text{ mm}$ スペーサーの取付け

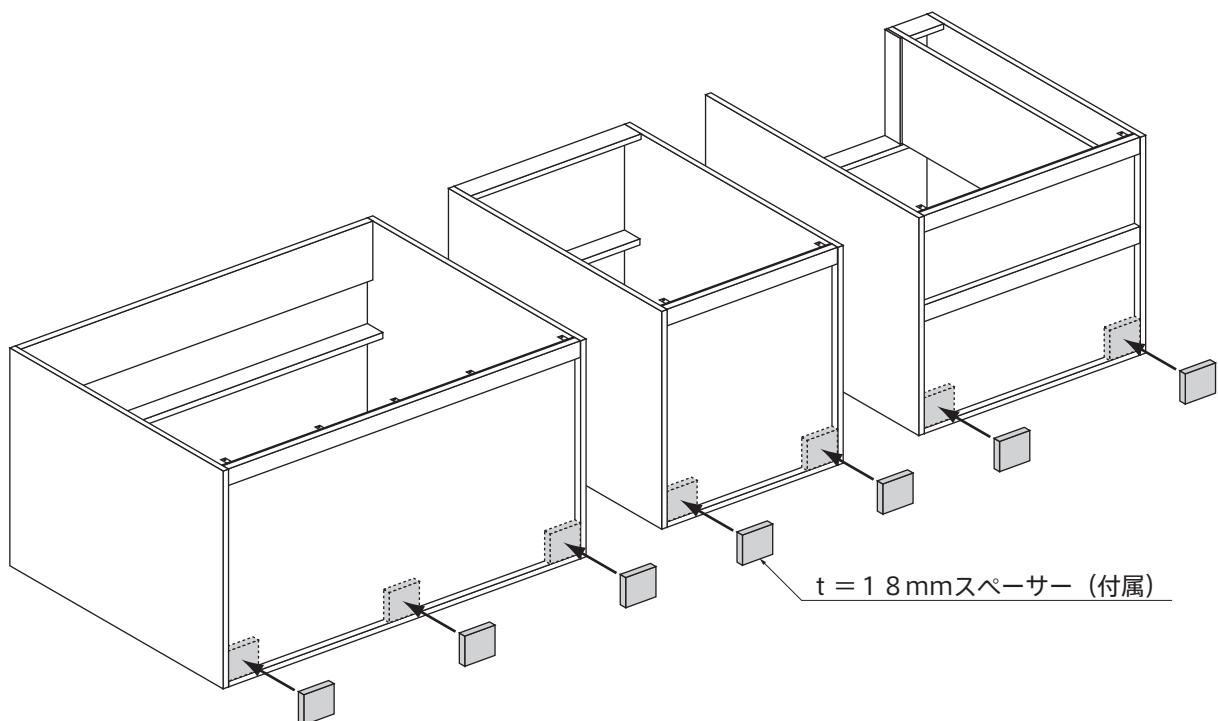
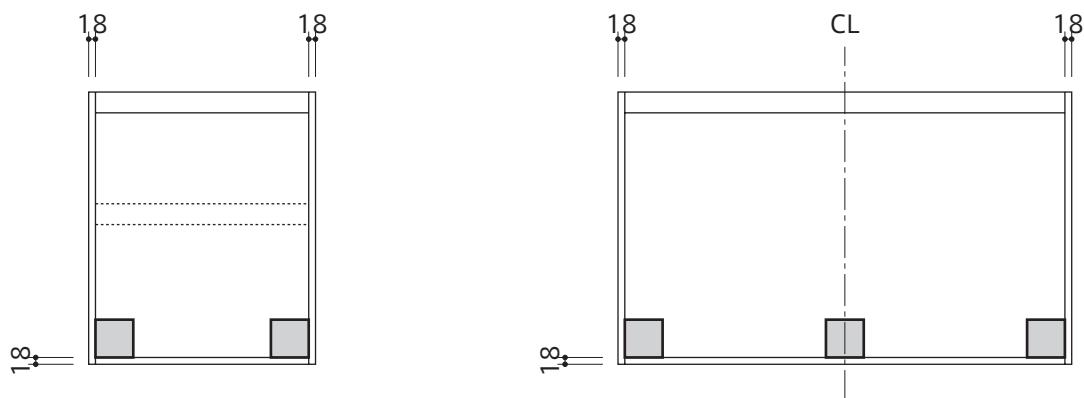
※D=770オンウォールタイプの場合、 $t = 18\text{ mm}$ スペーサー（付属）を取付けてください。

- ユニット背面下部の指定位置に $t = 18\text{ mm}$ スペーサー（付属）を両面テープにて仮止めします。
- ※食洗機ユニットの場合は、 $t = 18\text{ mm}$ スペーサー（付属）は不要です。

■ $t = 18\text{ mm}$ スペーサー取付位置（背面図）

引出しユニット、加熱機器ユニット

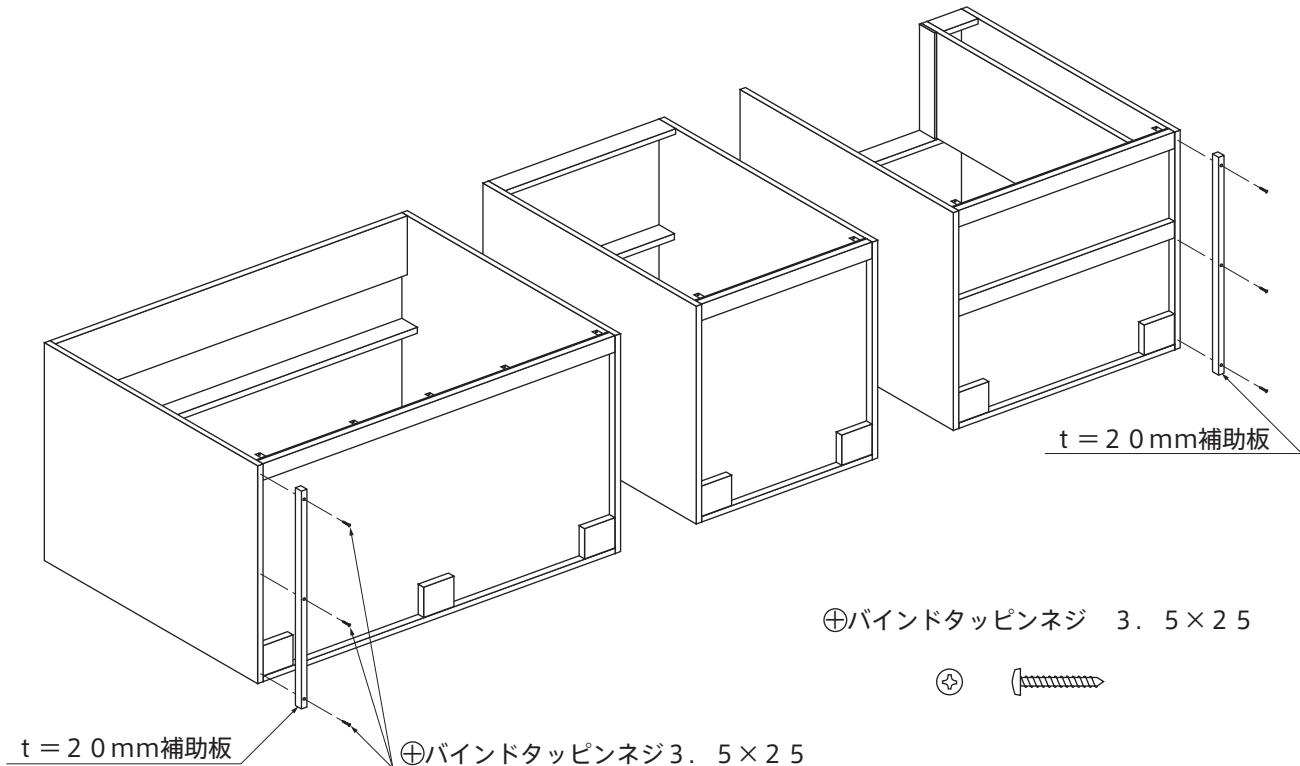
シンクユニット



***t = 20mm*補助板の取付け (i-k i t c h e n P A L E T T Eの場合のみ)**

※D=770オンウォールタイプの場合、*t = 20mm*補助板を取付けてください。

- ユニット背面と壁面の間に発生する20mmの隙間を*t = 20mm*補助板で塞ぎます。
キッチン両端のユニット側板背面に⊕バインドタッピンネジ3.5×25を使用して*t = 20mm*補助板を固定します。



アジャスターの取付け

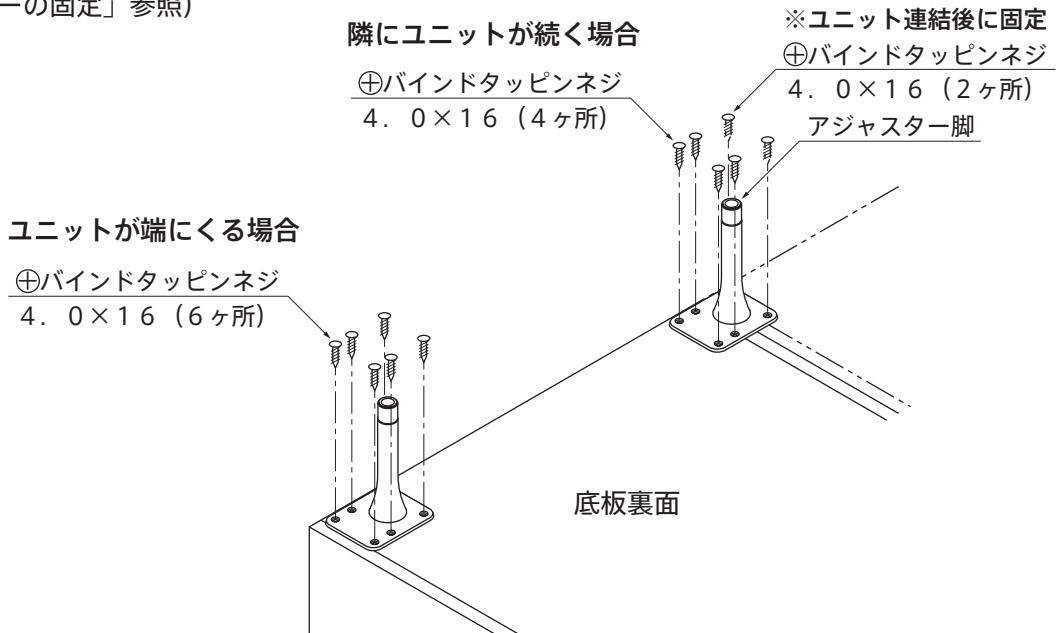
■アジャスターの取付け

- ・フロアユニットを裏に向けて、底板裏面にアジャスターを取付けます。
- フロアユニットが連続する場合、左側から取付けます。
- ※どちらか壁になる場合は壁側から取付けてください。
- ※アジャスターの取付位置は、「アジャスター配置」を参照してください。

・底板裏面に開いている下穴にアジャスター脚の穴を合わせ、 \oplus バインドタッピングネジ4.0×16 (6本)にて固定します。

※ユニットが端にくる場合は**6本**固定します。

隣にユニットが続く場合は**4本**固定し、残りの**2本**はユニット連結後に固定します。（次頁「アジャスターの固定」参照）

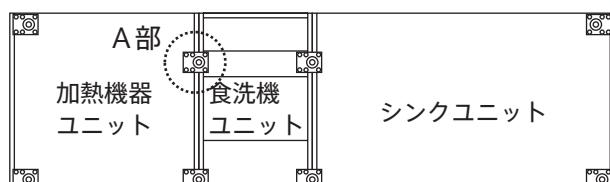


■アジャスター配置（裏面より）

標準タイプ

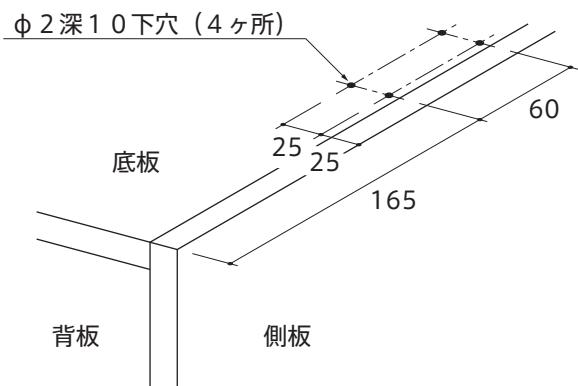


食洗機付きタイプ

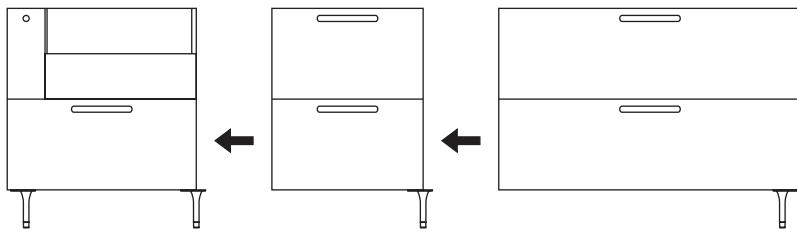


- A部は下穴が開いていませんので、ユニットの底板に下穴を開けてからアジャスターを取付けてください。

穴開け加工詳細図（裏面より）

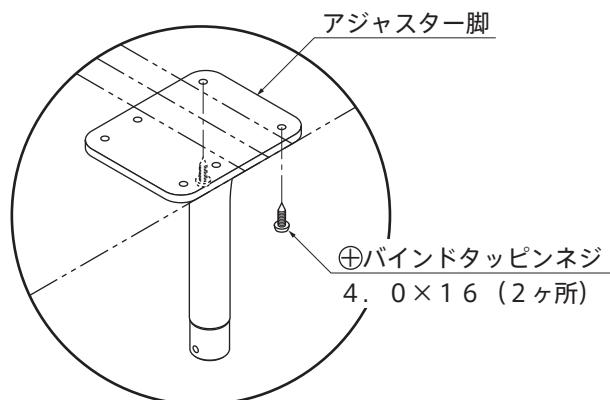


■ユニットの連結

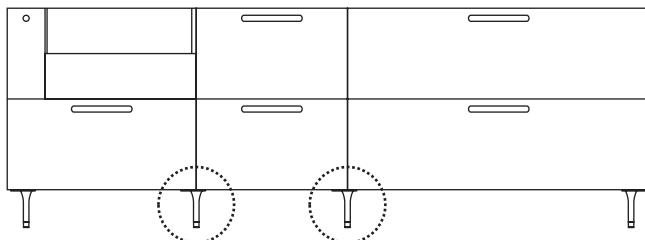


- ・左側（壁側）のユニットを取付け後、隣のユニットを順に取付けていきます。
- 1ユニットごとにユニット連結をします。
- ・アジャスターは、キッチン両端以外は、ユニットとユニットの間の位置になります。

■アジャスターの固定

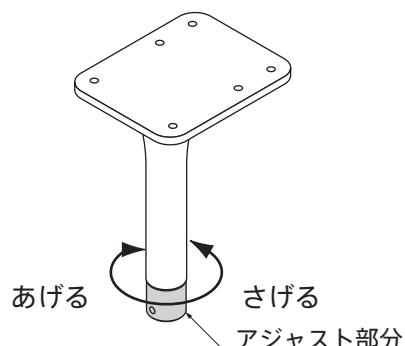


- ・ユニット下側から、連結箇所のアジャスター脚を固定します。
アジャスター脚の残りの穴（2ヶ所）から④バインドタッピングネジ 4.0×16 にて固定します。



注意：ユニット連結後、ユニット下側からアジャスター脚の残りの穴（2ヶ所）を必ずネジ固定してください。

■アジャスターの調整方法



- ・手を使い、ユニットの高さや水平を調整します。

※アジャスターの調整は1ユニットごとに行ってください。

■調整範囲 -0~+10mm

転倒防止部品の取付け

- コンクリート床、石床の場合、アジャスター脚の設置位置（「転倒防止部品取付位置」を参照）にカールPCプラグを取付けます。（図1）
床にΦ6深35の下穴を開けます。
下穴にカールPCプラグ6×25（市販品）を取付けます。
- ワッシャーヘッドタッピングネジ4.0×40にて転倒防止部品を床に取付けます。（図2）
- 転倒防止部品にアジャスター脚を差し込みます。（図3）
- アジャスター脚のアジャスト部分を回して、レベルを調整します。（図4）

■調整範囲 -0~+10mm

※ アジャスト部分の固定穴は見えないよう内側へ向けて調整します。

- アジャスター脚の固定穴（1ヶ所）から六角穴止めネジ（棒先）にて固定します。（図5）

図1

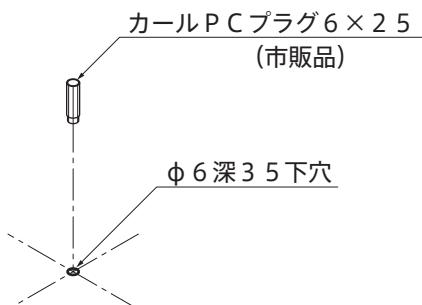


図2

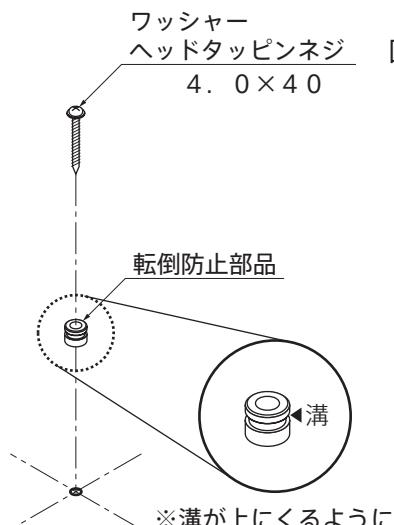


図3

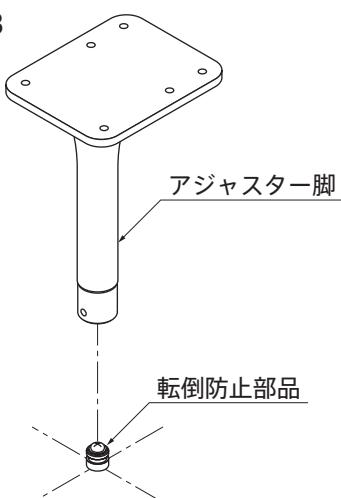


図4

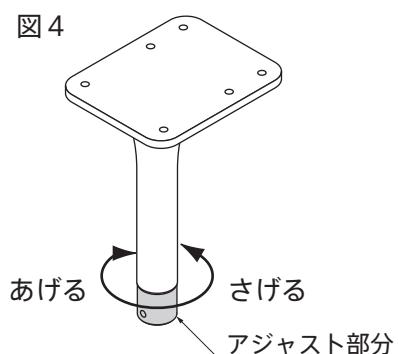
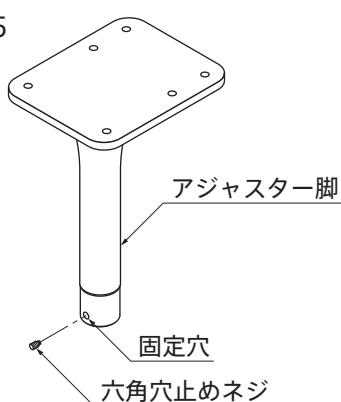
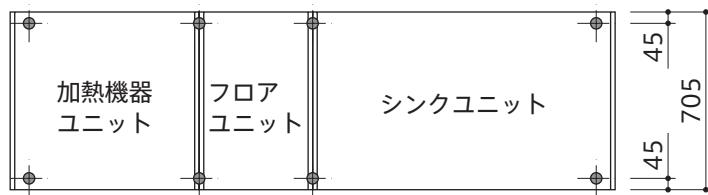
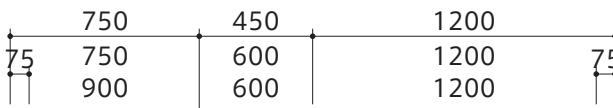


図5

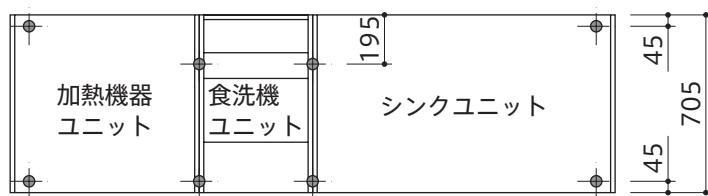
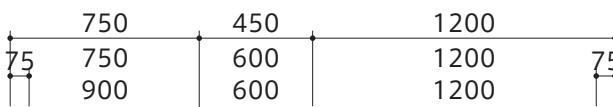


■転倒防止部品取付位置（平面図）

標準タイプ



食洗機付きタイプ



注意：アジャスター脚は、必ず床に固定してください。

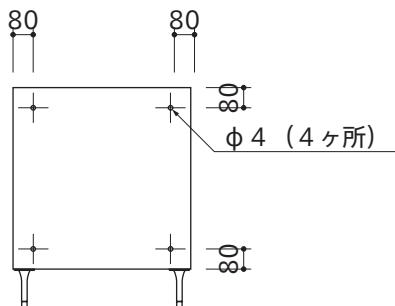
※オンウォールタイプの場合、壁面側の転倒防止部品は取付け不要です。

フロアユニットの取付け 1

・ユニットを連結します。

⊕ナゲシネジ 3.8×3.2 にワッシャーを通して、指定位置（4ヶ所）で固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

■ユニット連結位置（側面図）



・オンウォールタイプの場合、ユニット背面を壁面に固定します。

⊕ハイロラッパネジ 4.2×4.2 にワッシャーを通して、指定位置で固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

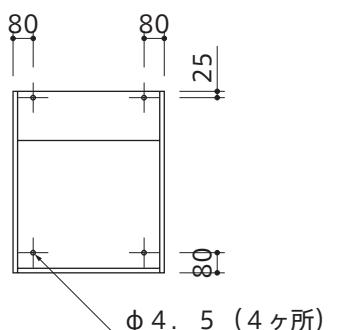
食洗機ユニットの場合、側板後側の指定位置に⊕バインドタッピングネジ 4.0×1.6 にてL金具を2個取付けます。

食洗機ユニット上部は、L金具より⊕バインドタッピングネジ 4.0×1.6 にて固定します。

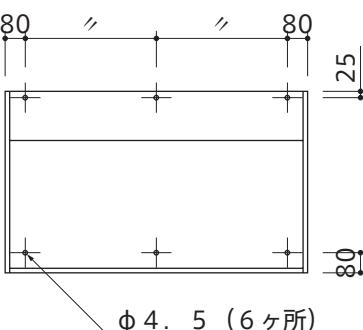
食洗機ユニット下部は、⊕ハイロラッパネジ 4.2×4.2 にワッシャーを通して、指定位置（2ヶ所）で固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

■壁面固定位置（正面図）

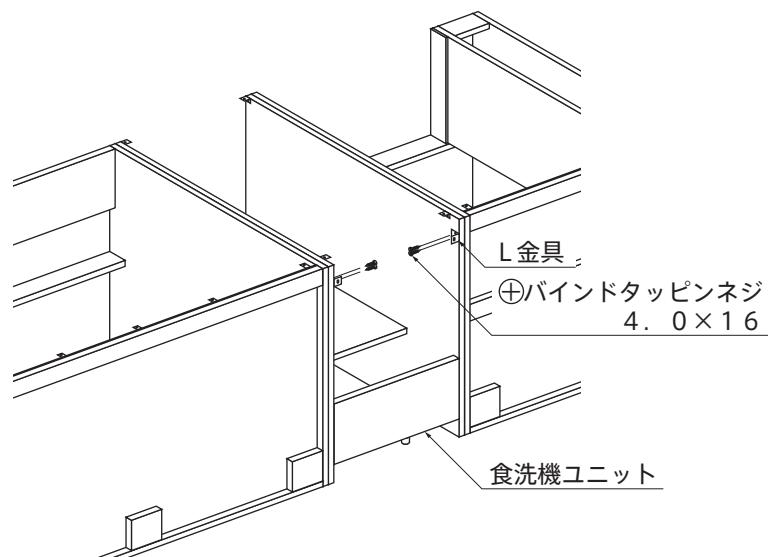
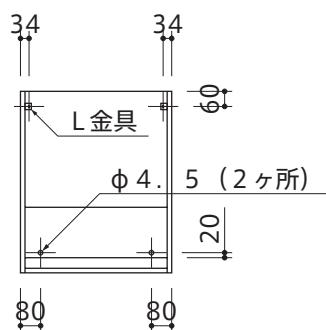
引出しユニット、
加熱機器ユニット



シンクユニット

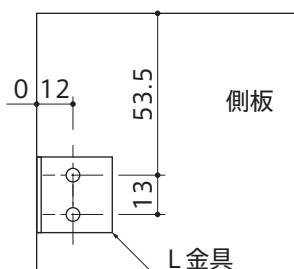


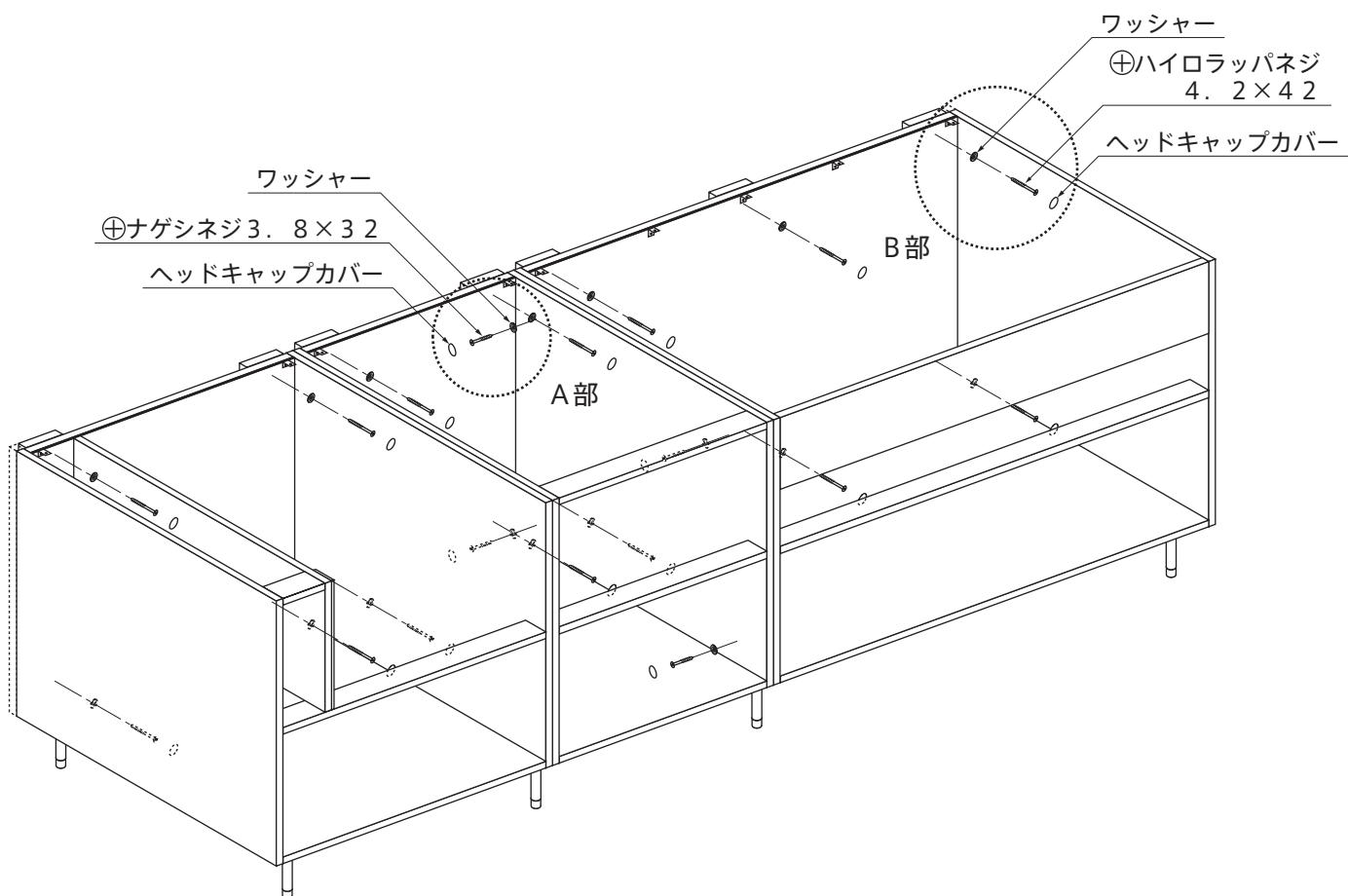
食洗機ユニット



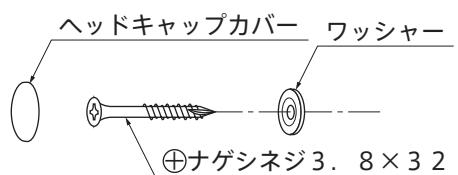
■L金具取付位置（側面図）

食洗機ユニット

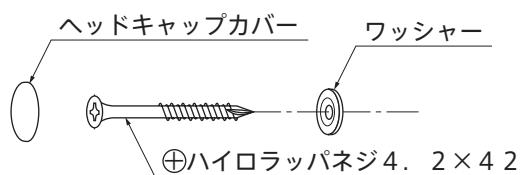




A部詳細図



B部詳細図

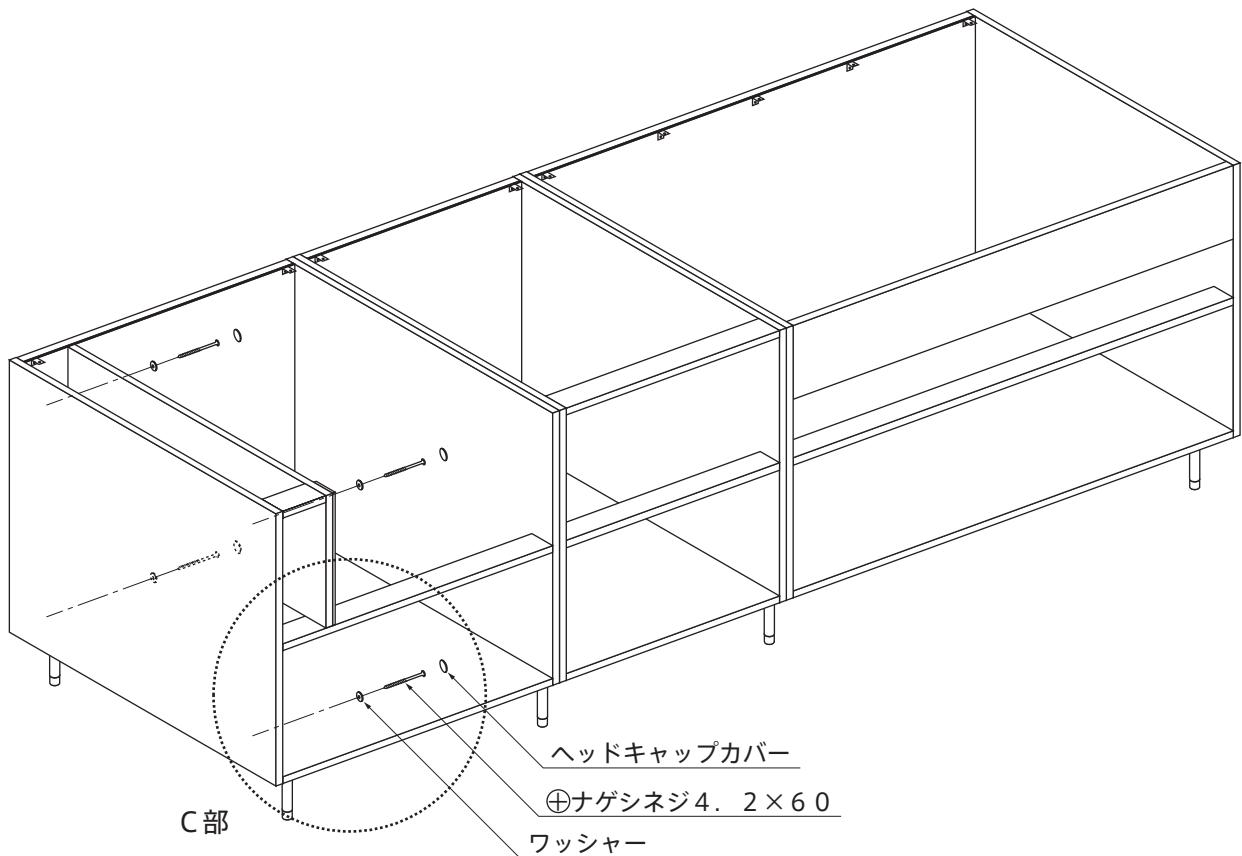
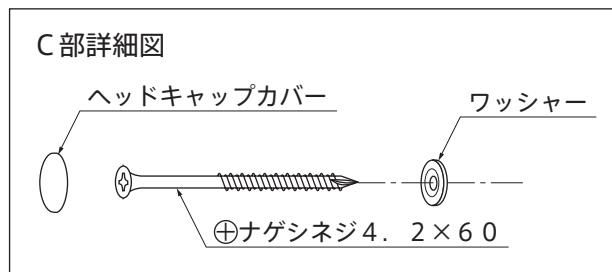
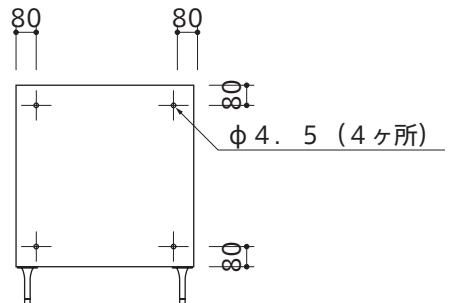


フロアユニットの取付け 3

※i-kitchen PALETTE METALの場合、ユニットを壁面に固定する前にサイドパネルを取付けてください。（「サイドパネルの取付け」を参照）

- ペニンシュラタイプの場合、ユニット側面を壁面に固定します。
- ⊕ナゲシネジ4. 2×60にワッシャーを通して、指定位置（4ヶ所）で固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

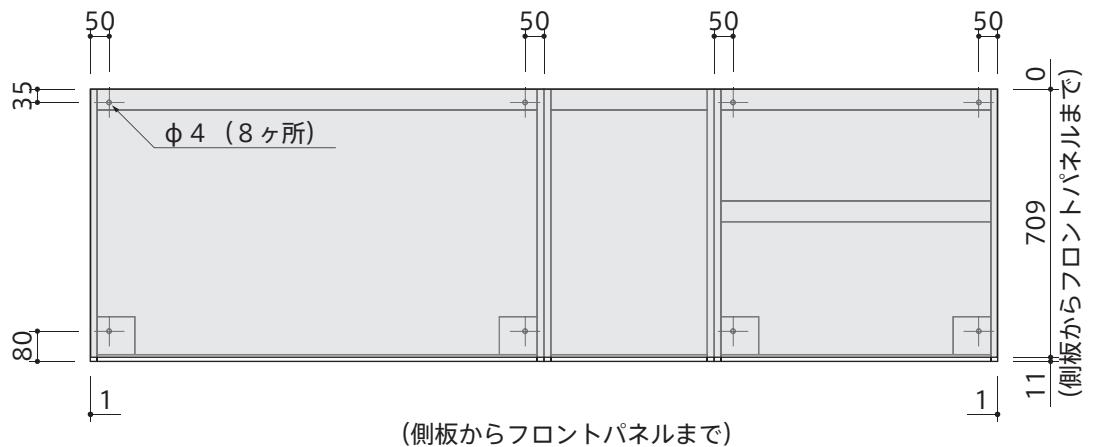
■壁面固定位置（側面図）



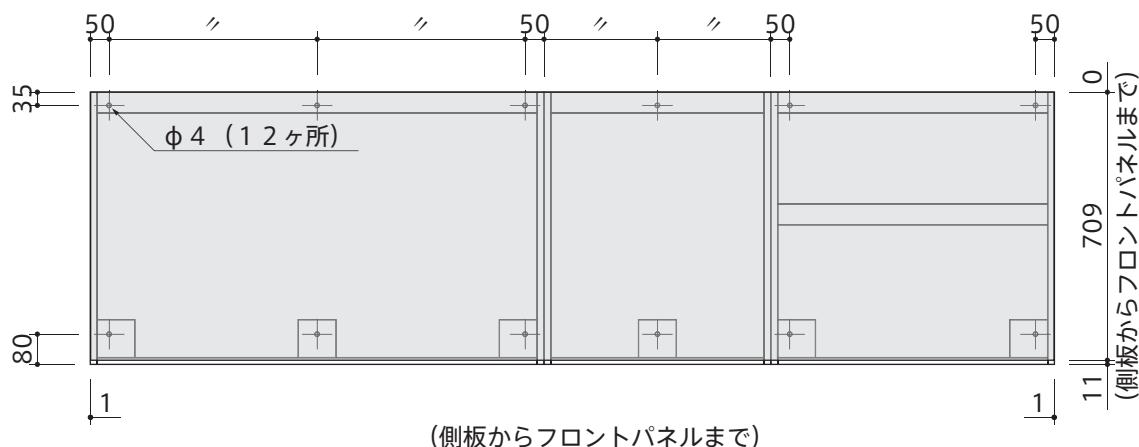
- ユニットの背板背面下部に $t = 18\text{ mm}$ スペーサー（付属）を両面テープで仮止めします。
- ユニットの背板棧と仮止めした $t = 18\text{ mm}$ スペーサーの指定位置にユニット内側の背板から $\phi 4$ の下穴を開けます。
食洗機ユニットの場合、背板の指定位置に $\phi 4$ の下穴を開けます。
- ユニット内側から \oplus ナゲシネジ 3.8×38 （食洗機ユニットの場合、 \oplus ナゲシネジ 3.8×32 ）にワッシャーを通して、フロントパネルを固定し、ヘッドキャップカバーをはめます。

フロントパネル取付位置（背面図）

間口 2400 の場合

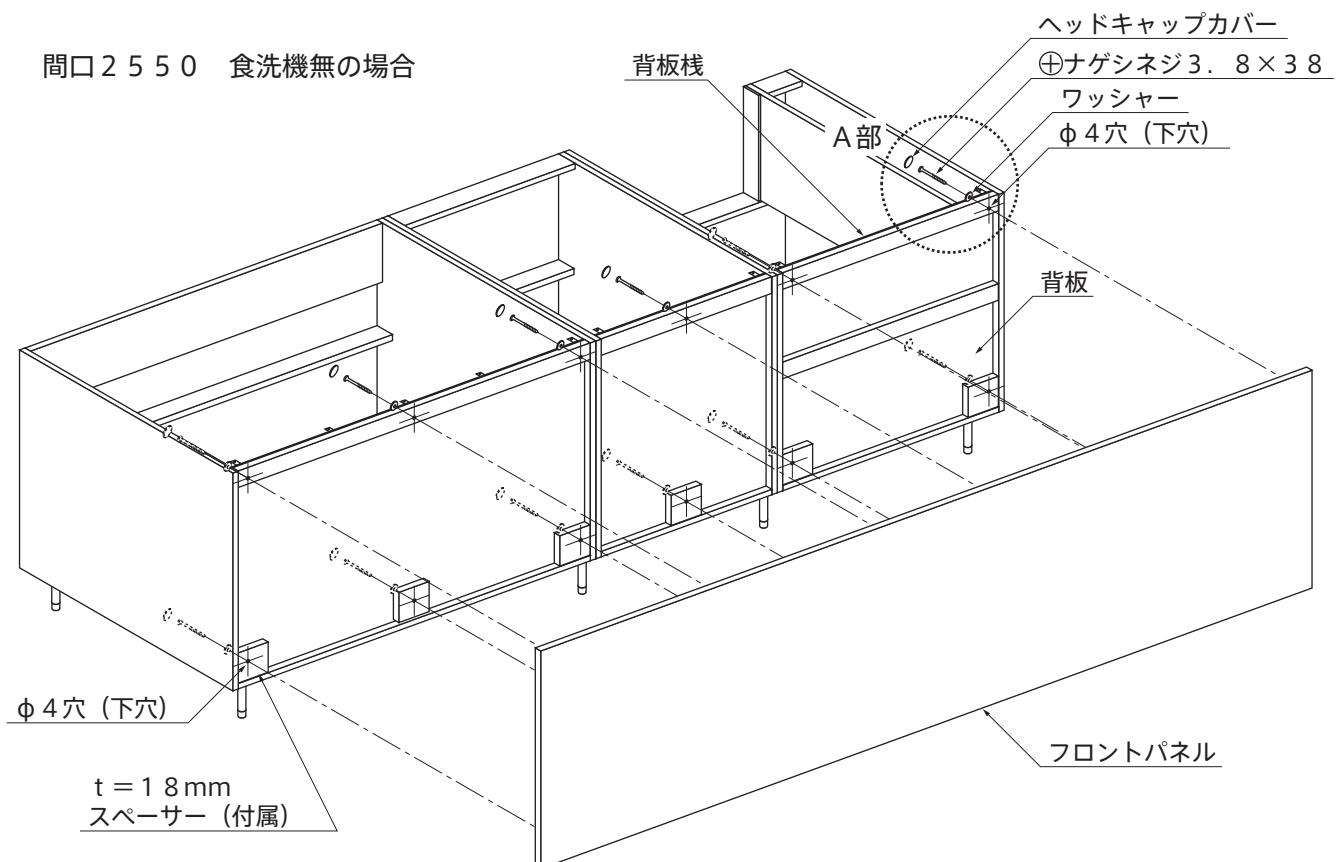


間口 2550、2700 の場合

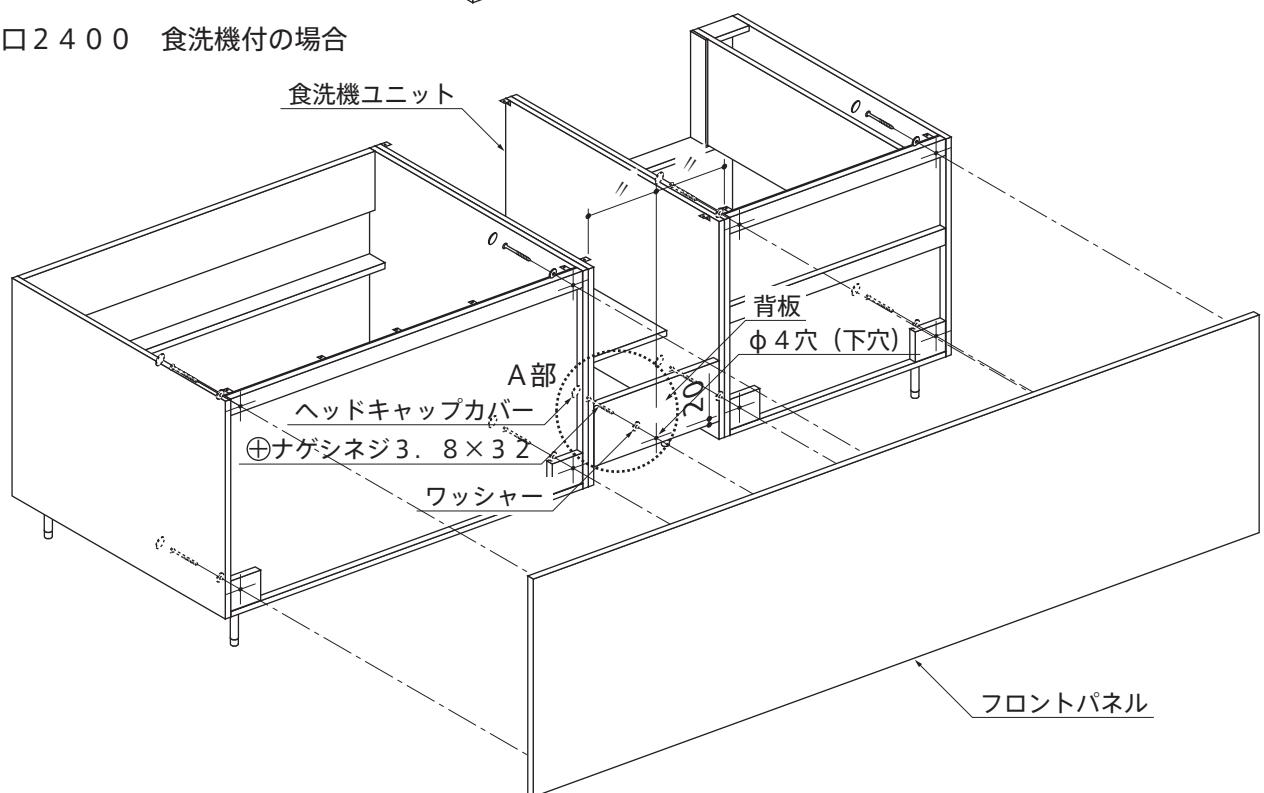


※食洗機付の場合、食洗機ユニット部分の固定は次ページを参照のこと。

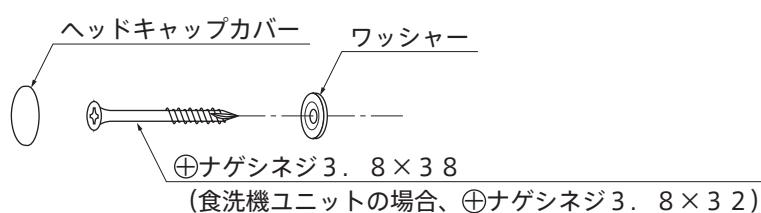
間口 2550 食洗機無の場合



間口 2400 食洗機付の場合



A部詳細図



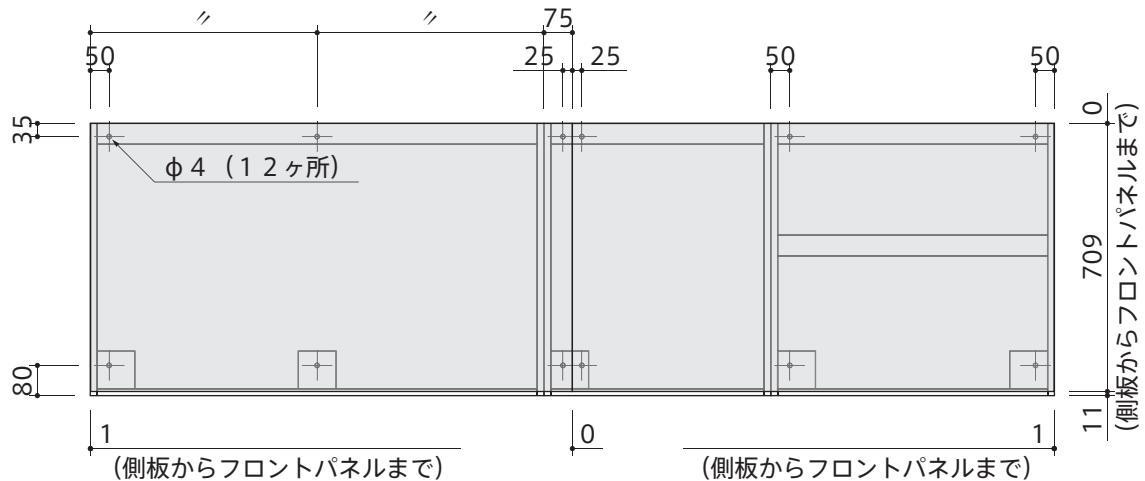
■間口2550、2700 フロントパネルが2枚の場合
(フロントパネルの継ぎ目が食洗機ユニットの中間にくる場合)

1. フロントパネルの継ぎ目側の上端に L 金具を取付けます。
フロントパネルの指定位置に \oplus バインドタッピンネジ 4. 0 × 1 6 にて L 金具を取付けます。
2. 食洗機ユニット背板の指定位置に ϕ 4 の下穴を開けます。
3. 食洗機ユニット内側から \oplus ナゲシネジ 3. 8 × 3 2 にワッシャーを通してフロントパネルを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

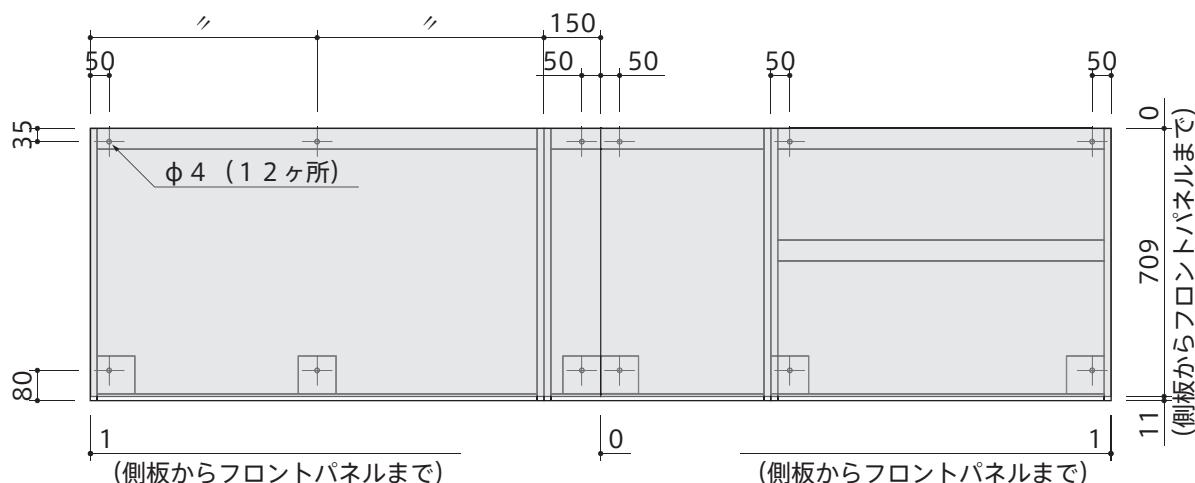
※ シンクユニットと加熱機器ユニットからの取付方法はフロントパネルが 1 枚の場合と同様です。

フロントパネル取付位置 (背面図)

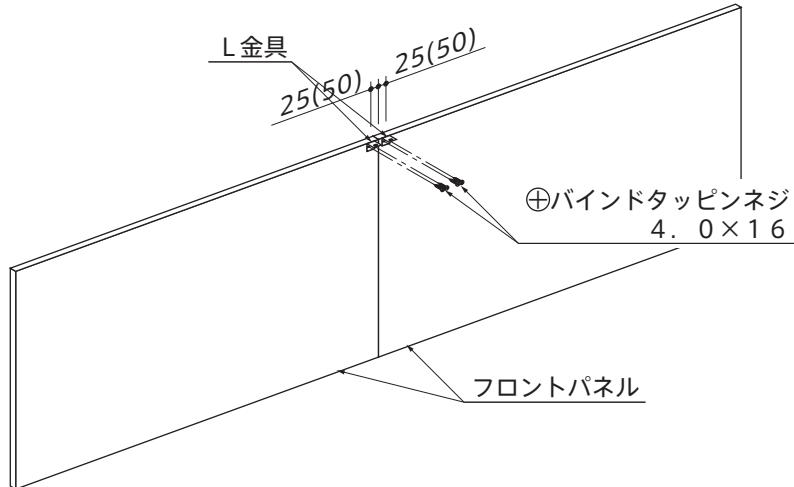
間口2550 フロントパネルが2枚（分割する）の場合



間口2700 フロントパネルが2枚（分割する）の場合

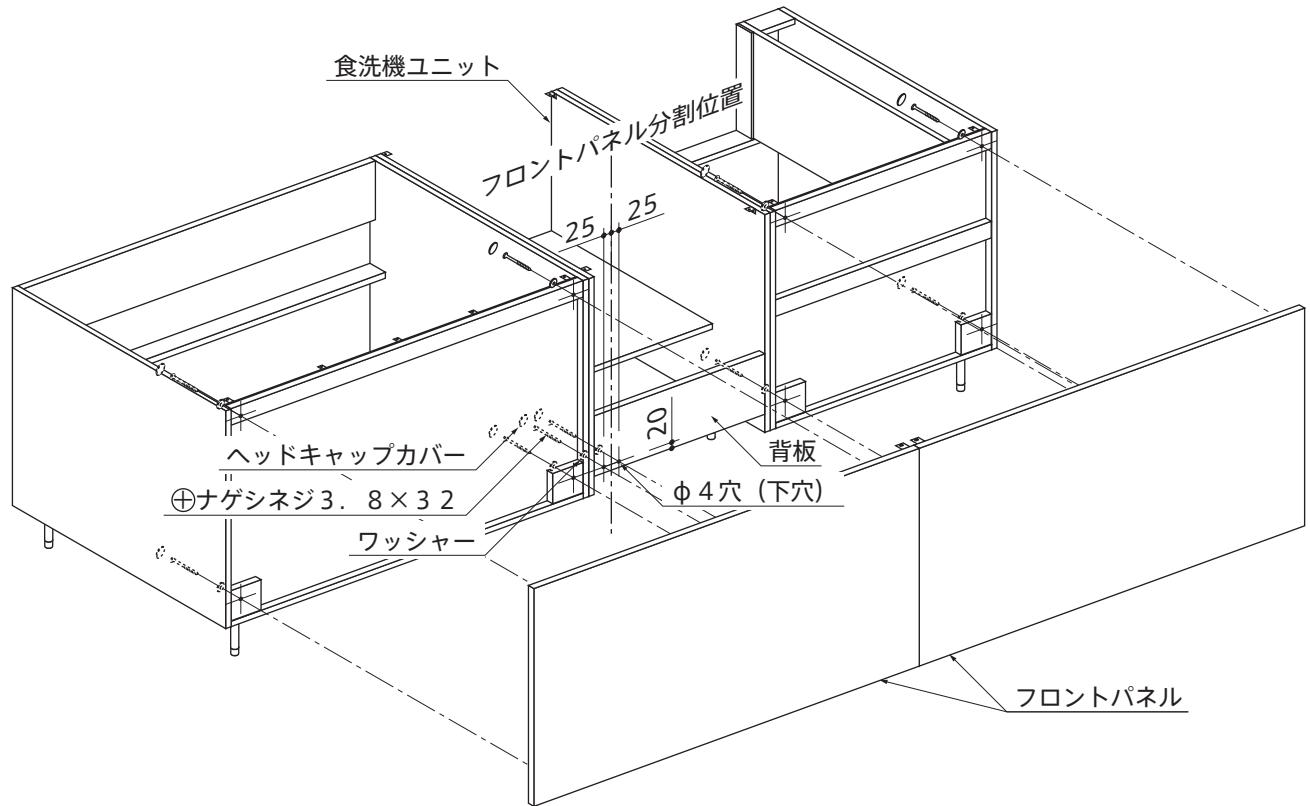


※食洗機付の場合、食洗機ユニット部分の固定は次ページを参照のこと。



※ () 内寸法は、間口 2700 の場合を示す。

間口 2550 フロントパネルが2枚の場合

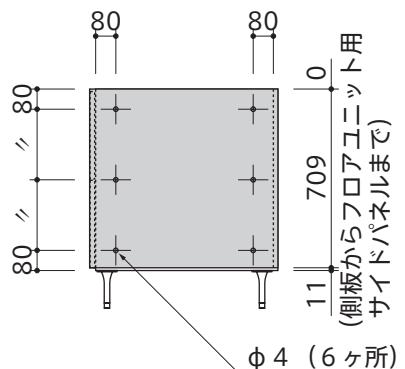


サイドパネルの取付け (i-kitchen PALETTE METALの場合のみ)

- ユニット側板の指定位置にΦ4の下穴を開けます。
ユニット内側から⊕ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通して、サイドパネルを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

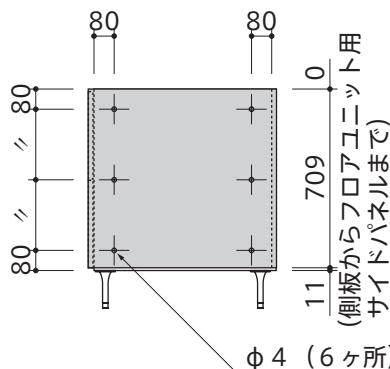
■サイドパネル取付位置 (側面図)

【オンウォールタイプ】

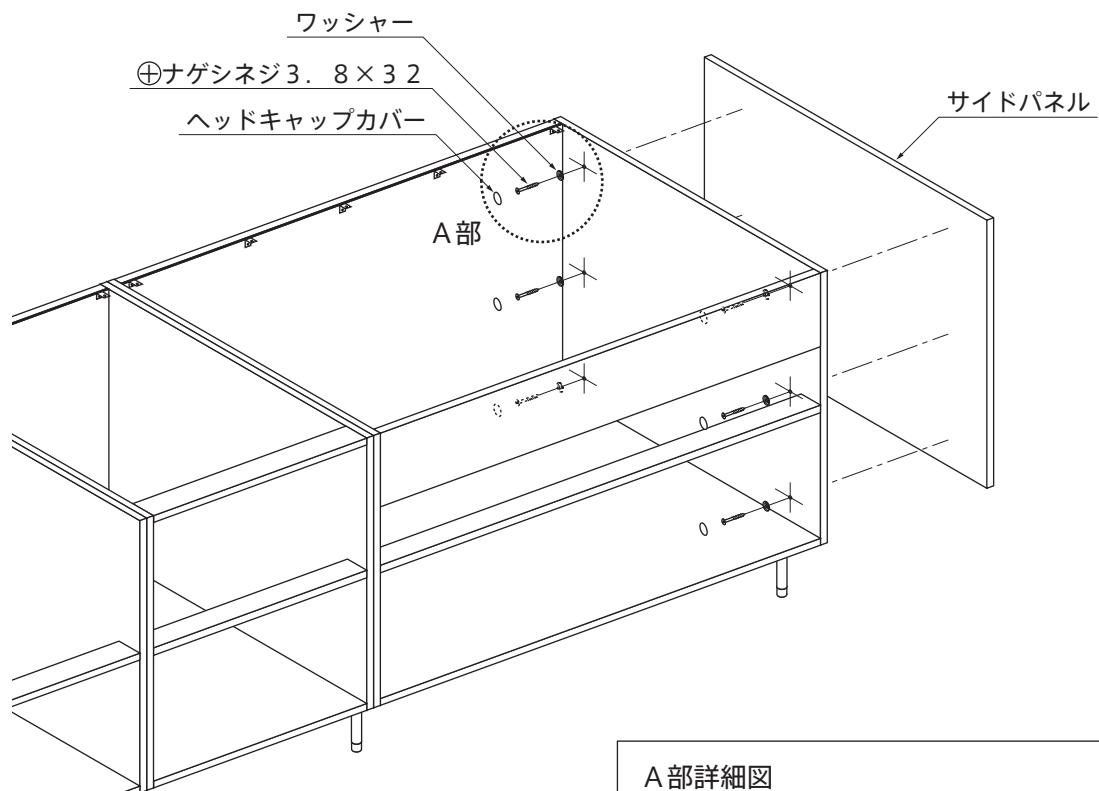


※壁面に合わせて取付けます。

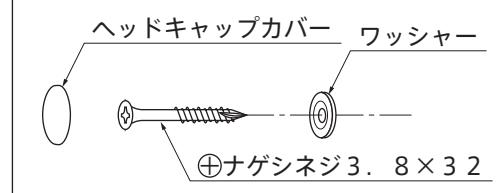
【アイランドタイプ、ペニンシュラタイプ】



※キッチン側のユニット扉面と対面側の
フロントパネル面のチリが均等になる
ように取付けます。



A部詳細図



ワークトップの取付け (オンウォールタイプの場合) 1

- シンクユニットの場合、ワークトップをユニットにのせ、壁へ押し付けながらワークトップ裏面の指定位置に \oplus バインドタッピンネジ3. 5×16にてL金具を取付けます。(図1、2)

※壁面に弊社のバックパネルや壁面パネルを取付けない場合は、ワークトップの壁に接する面にシール材(ワークトップ付属品)を貼り、その上にシーリング材を線状に付着させてから、ワークトップを壁へ押し取付けてください。(図3)

ワークトップをユニットに押し付けながら、シンクユニット前面の指定位置に \oplus サラタッピンネジ3. 0×16にてL金具を固定します。(図1、2)

※ネジ頭がL金具からはみ出さないように固定してください。

- 引出しユニットおよび加熱機器ユニット前面は、上桟に開いているΦ4穴から \oplus ナゲシネジ3. 8×32(加熱機器ユニットの場合、 \oplus ナゲシネジ3. 8×38)にワッシャーを通して、ワークトップと固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。(図1、2)

- 食洗機ユニットおよびユニット後面は、取付けてあるL金具から \oplus バインドタッピンネジ4. 0×16にてワークトップと固定します。

※全ての施工が終わりましたら、壁とのすき間全周(縦目地も含む)をシーリングしてください。(図4)

図1

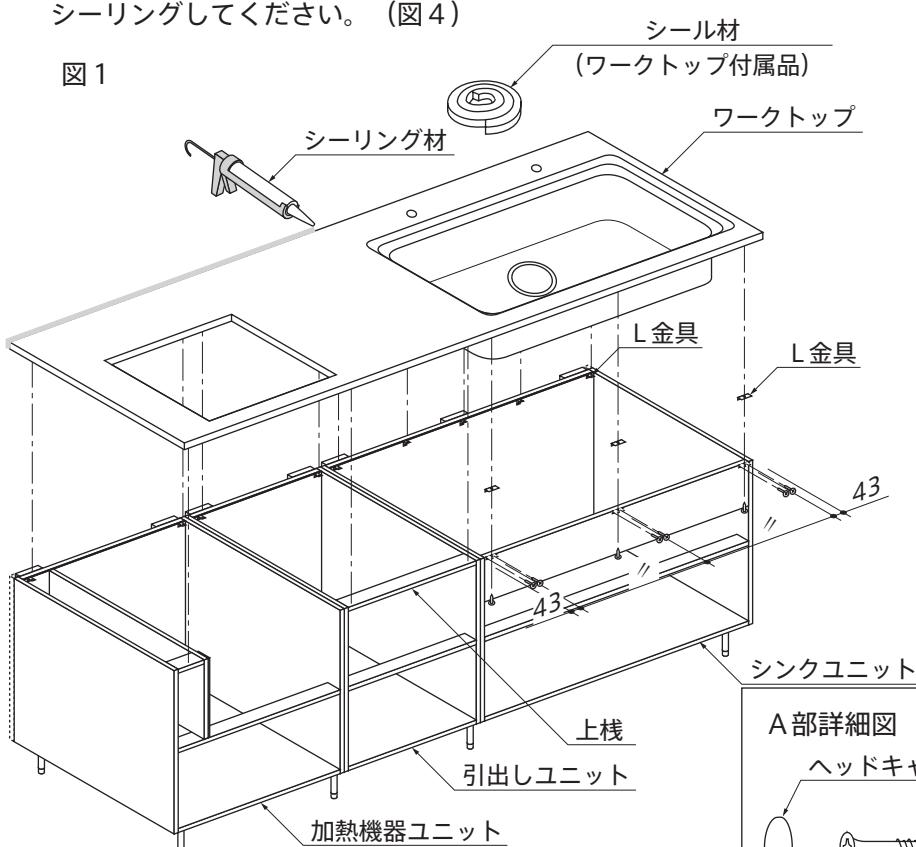


図2

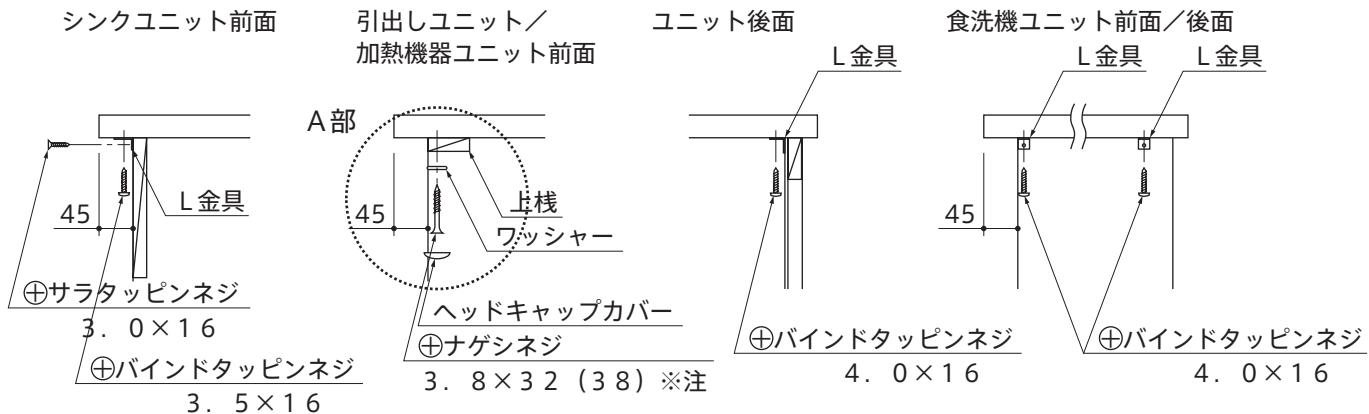


図3 車体工事壁
(他社キッチンパネル) ▶
(タイル壁面) 等

ワークトップ

シール材

ユニット

図4 車体工事壁

(他社キッチンパネル) ▶

(タイル壁面) 等

ワークトップ

シーリング材

ユニット

A部詳細図

ヘッドキャップカバー

ワッシャー

ナゲシネジ3.8×32

(※注 加熱機器ユニットの場合

ナゲシネジ3.8×38)

・シンクユニットの場合、ワークトップをユニットにのせ、ワークトップ前面からユニット前面まで45mmになるように位置を合わせながら、ワークトップ裏面の指定位置に \oplus バインドタッピンネジ3.5×16にてL金具を取付けます。

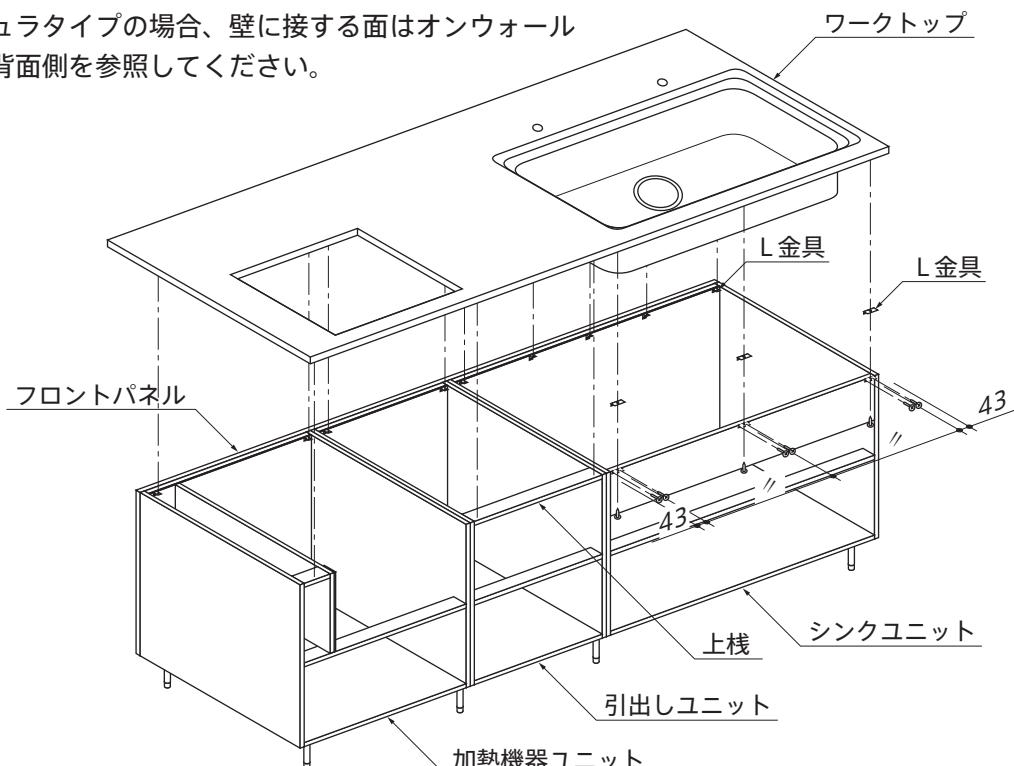
ワークトップをユニットに押し付けながら、シンクユニット前面の指定位置に \oplus サラタッピンネジ3.0×16にてL金具を固定します。

※ネジ頭がL金具からはみ出さないように固定してください。

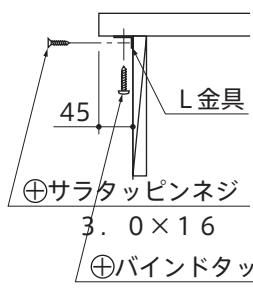
・引出しユニットおよび加熱機器ユニット前面は、上棧に開いているΦ4穴から \oplus ナゲシネジ3.8×32(加熱機器ユニットの場合、 \oplus ナゲシネジ3.8×38)にワッシャーを通して、ワークトップと固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

・食洗機ユニットおよびユニット後面は、取付けてあるL金具から \oplus バインドタッピンネジ4.0×16にてワークトップと固定します。

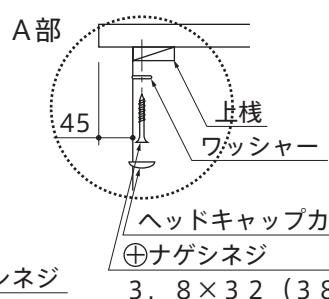
※ペニンシュラタイプの場合、壁に接する面はオンウォールタイプの背面側を参照してください。



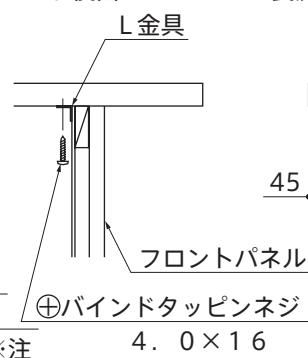
シンクユニット前面



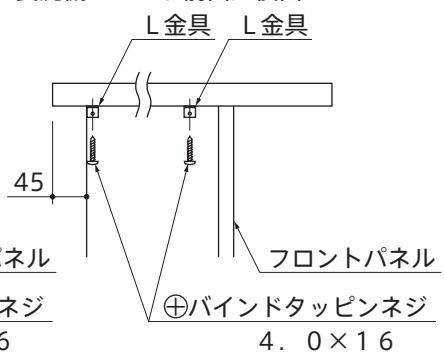
引出しユニット／
加熱機器ユニット前面



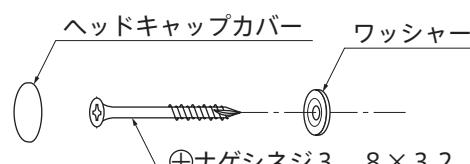
ユニット後面



食洗機ユニット前面／後面



A部詳細図



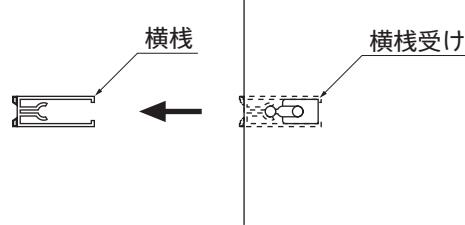
(※注 加熱機器ユニットの場合 \oplus ナゲシネジ3.8×38)

配管前の準備

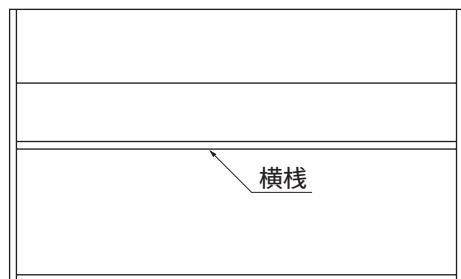
横桟の取り外し

- ・作業しやすくするため、配管を行う前にシンクユニットの横桟受けから横桟を外してください。
- ・作業が終了したら、横桟を取付けてください。

側面断面図

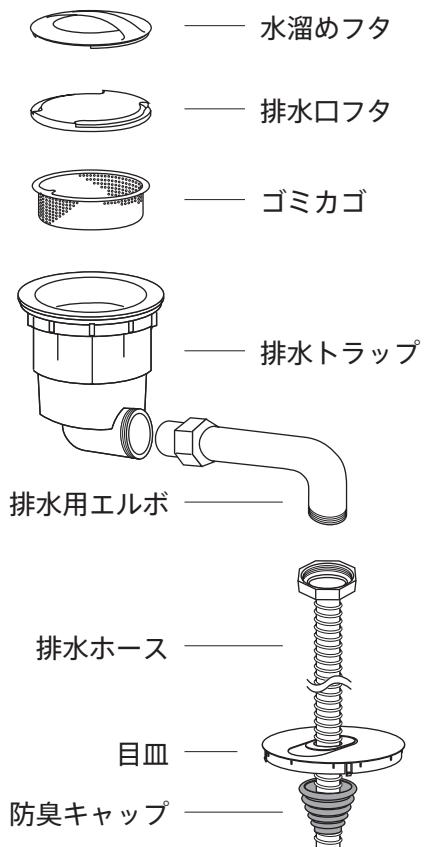


正面図

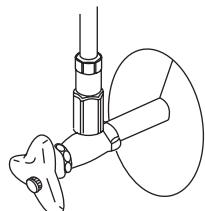


排水管の配管

- ・ワークトップの排水栓取付穴に排水トラップを取り付け、配管を行います。



配管カバー、水栓の取付け



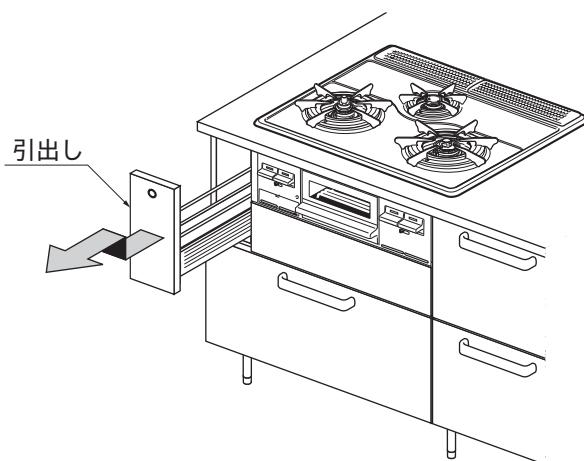
シンクユニット内に、給水・給湯管の取り出しを行い、止水栓取付け後、配管カバーの接着テープをはがして配管と背板の隙間をふさぐように貼り付けてください。

※水栓の取付けについては、付属の「取付・設置説明書」を参照してください。

引出しの取り外し、取付け

■スチール製引出しの場合

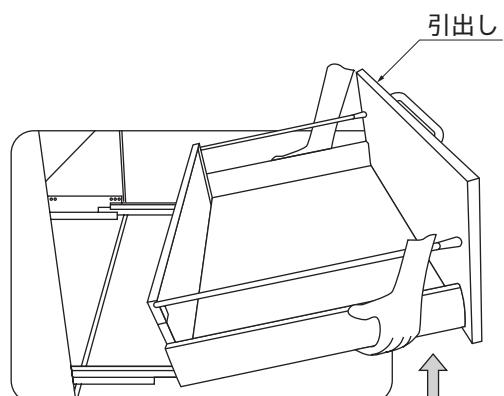
- ・引出しの取り外しは、引出しをいっぱいまで引出し、手前を持ち上げながら引出しレールから引き抜きます。
- ・引出しの取付けは、取り外しの手順を逆に行います。



■ブルム社製フルエクステンション引出しの場合

取り外し方

- ・引出しをいっぱいまで引出し、手前を持ち上げて取り外してください。
- ※必ず両手で引出しを持って取り外してください。



取付け方

- ・引出しレールをいっぱいまで引出してください。 (図1)
- ・引出しレールの上に引出しを乗せてください。 (図2)
- ・引出しを「パチン！」と音がするまで奥へ押し込んで、引出しレールに固定します。 (図3)

図1

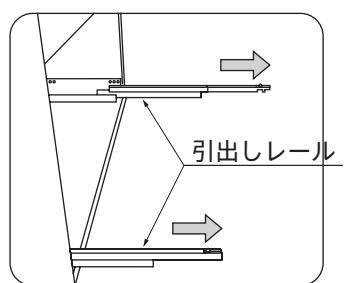


図2

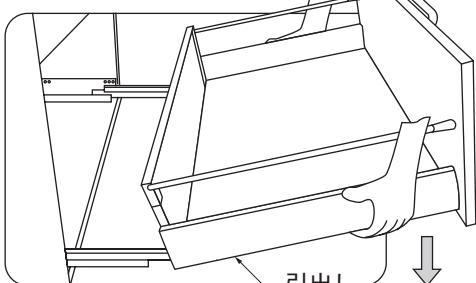
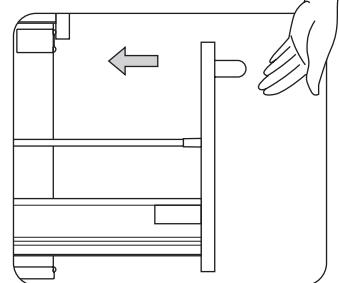


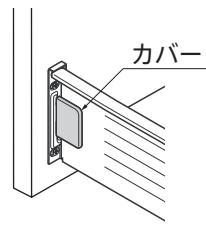
図3



引出し前板の調整

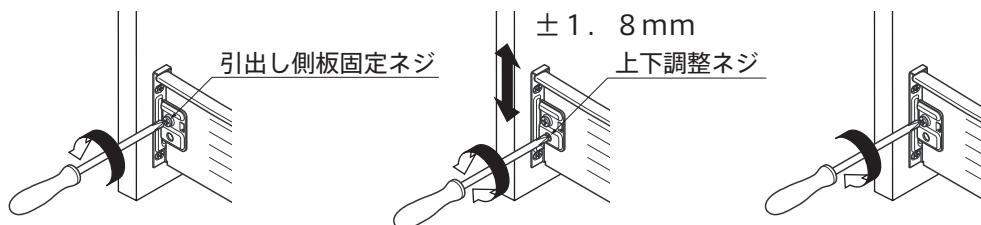
■スチール製引出しの場合

- ・引出し側板の左右外側についているカバーを外してください。
- ※全ての調整が終わりましたら、カバーを取付けてください。



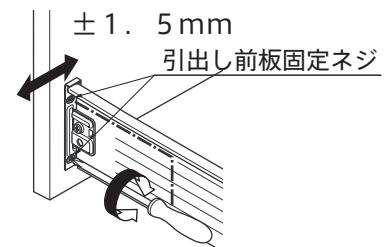
●上下方向の調整

- ・引出し側板固定ネジをゆるめ、上下調整ネジにて引出し前板の上下方向を調整します。
- ・ $\pm 1.8\text{ mm}$ 調整できます。
- ・調整が終わりましたら、引出し側板固定ネジを締めてください。



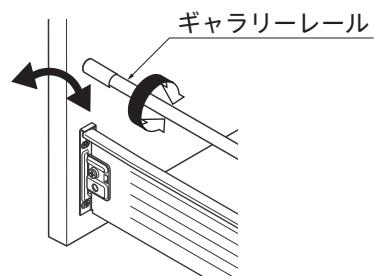
●左右方向の調整

- ・引出し前板固定ネジをゆるめ、引出し前板の左右方向を調整します。
- ・ $\pm 1.5\text{ mm}$ 調整できます。
- ・調整が終わりましたら、引出し前板固定ネジを締めてください。



●傾き調整

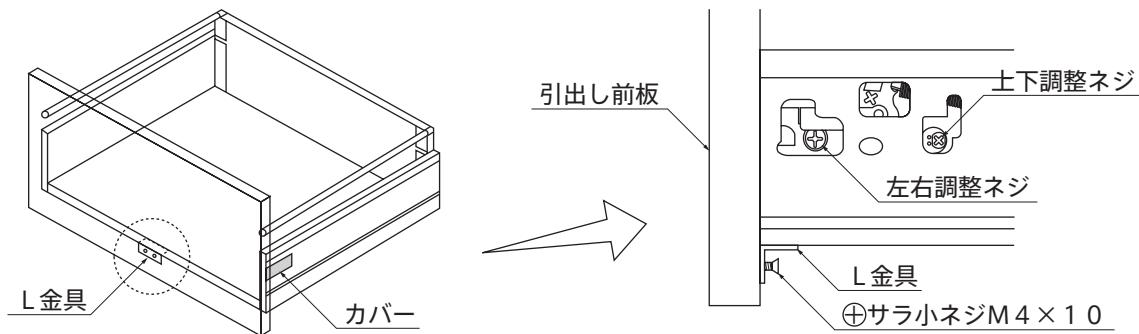
- ・ギャラリーレールを回して、引出し前板の傾きを調整します。



■ブルム社製フルエクステンション引出しの場合

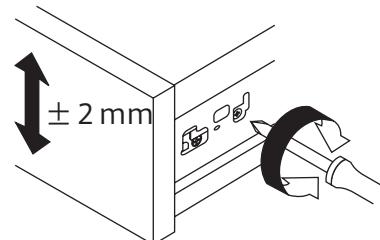
- 引出し側板の左右外側についているカバーをマイナスドライバー等で外してください。
- 間口 750 mm以上のユニットの場合、引出し前板の調整を行う前に、底板裏面についているL金具の引出し前板側の取付ネジ（⊕サラ小ネジM4×10）をゆるめておきます。

※全ての調整が終わりましたら、カバーを取付け、ネジを締めて引出し前板を固定してください。



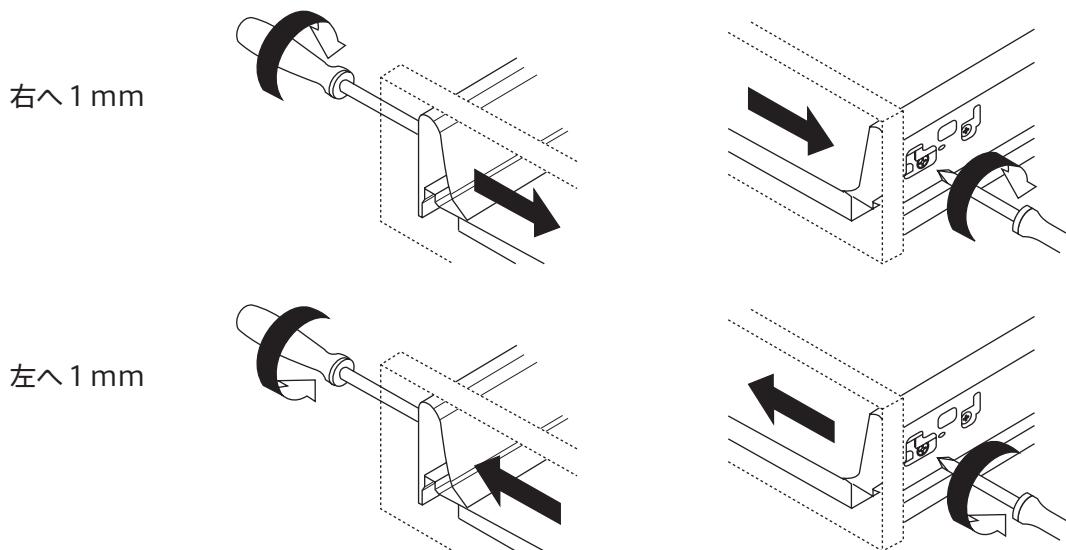
●上下方向の調整

- 上下調整ネジにて引出し前板の上下方向を調整します。
- ±2 mm調整できます。



●左右方向の調整

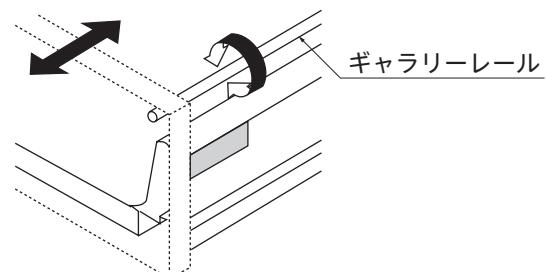
- 左右調整ネジにて引出し前板の左右方向を調整します。
- ±1 mm調整できます。



●傾き調整

※ギャラリーレール付き引出しのみ調整できます。

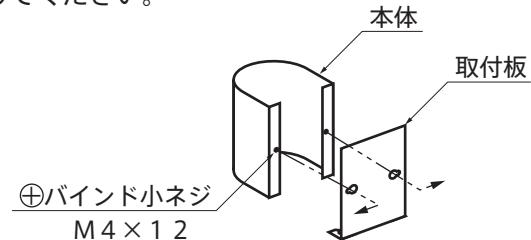
- ギャラリーレールを回して、引出し前板の傾きを調整します。



ステンレス配管カバーの取付け【オプション】

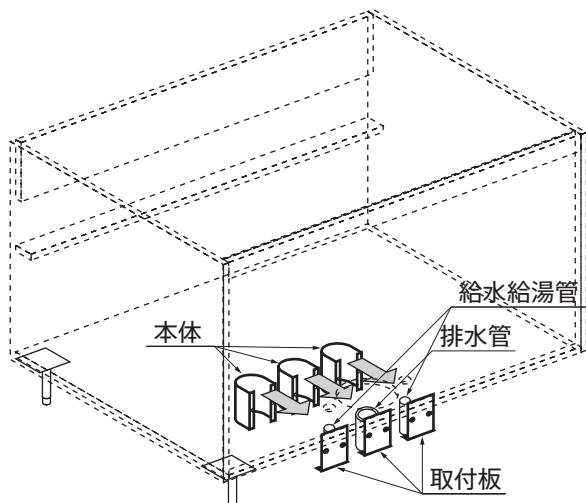
1. 取付板を給水給湯管、排水管、ガス管位置に両面テープ（市販品）または、ネジ（市販品）にて床に固定します。
2. 本体に④バインド小ネジM4×1.2を2ヶ所取付けます。
その際締め切らず、1.5mm程度開けた状態にします。
3. 本体を給水給湯管、排水管、ガス管に覆い被せます。
4. 本体を狭めながら、取付ネジ（④バインド小ネジ）を取付板の長穴に差し込んで固定します。
※ ガタつきが大きい場合は、取付ネジを締め付けて固定してください。

※ ガタつきが大きい場合は、取付ネジを締め付けて固定してください。

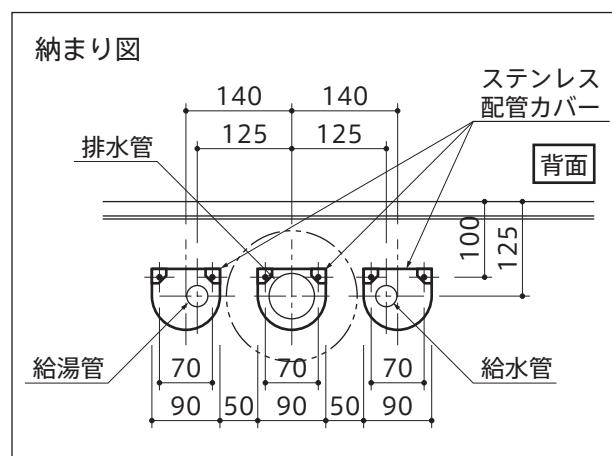


■ステンレス配管カバーを3個使用した場合の取付け例

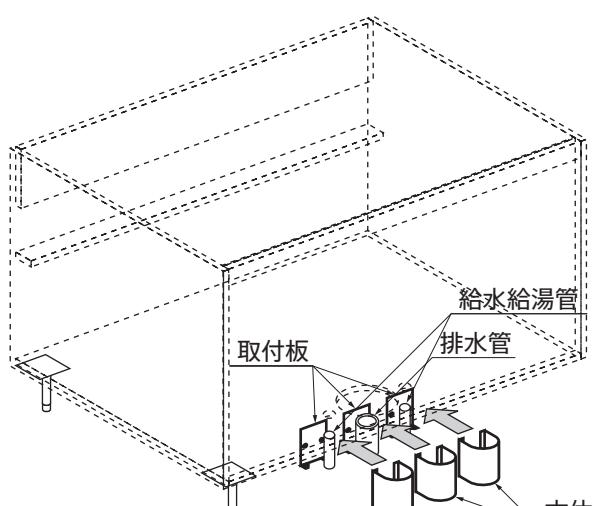
【オンウォールタイプ】



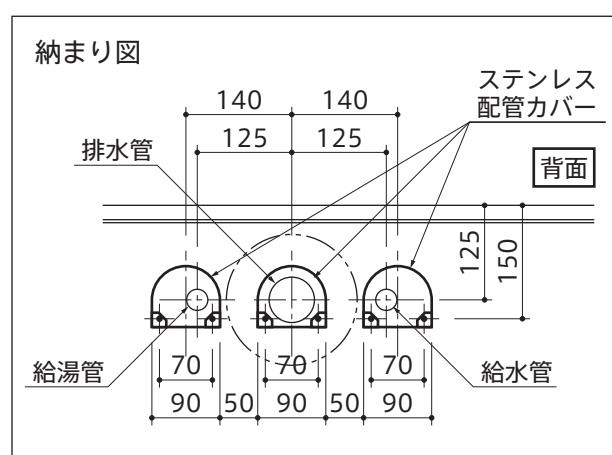
ユニット背面 (背面面)



【アイランドタイプ、ペニンシュラタイプ】

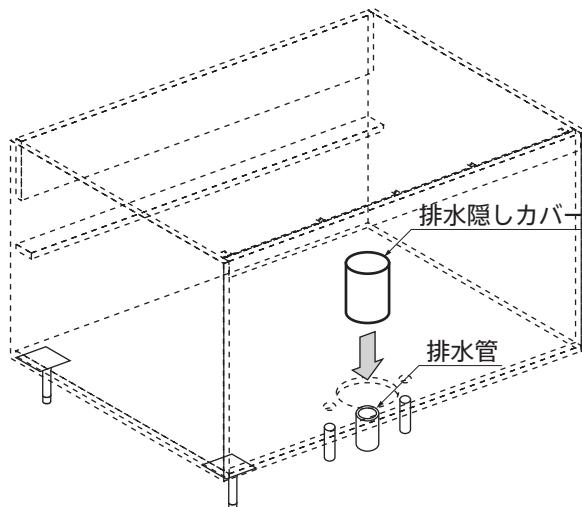


ユニット背面
(背面板面)



排水隠しカバーの取付け【オプション】

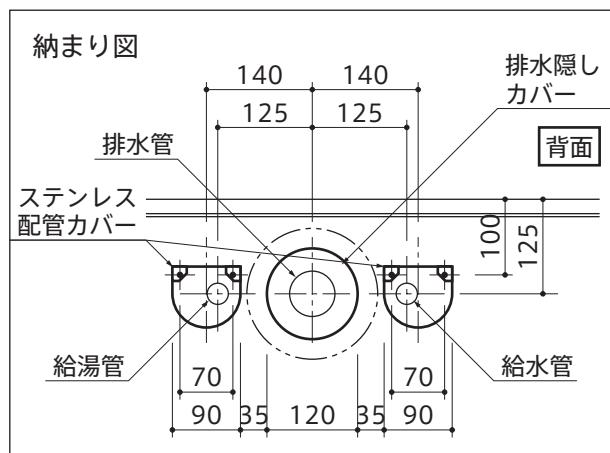
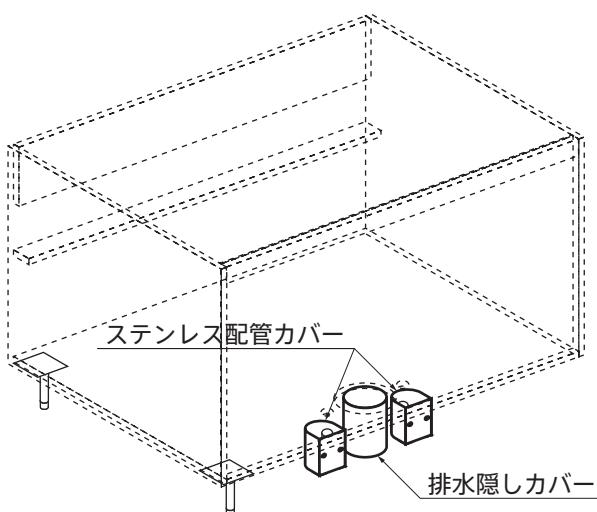
・排水管の配管を行う前に、ユニット内部の排水目皿用穴より排水隠しカバーを差し込みます。



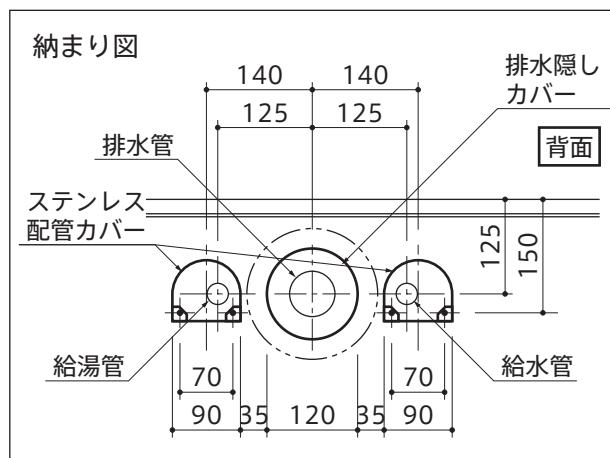
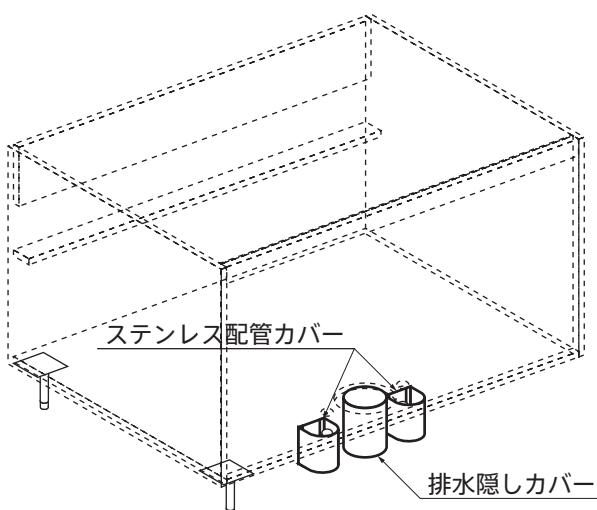
■ステンレス配管カバー2個と排水隠しカバーを使用した場合の取付け例

(※残りのステンレス配管カバー1個はガス管または配線などのカバーとして使用します。)

【オンウォールタイプ】



〔アイランドタイプ、ペニンシュラタイプ〕

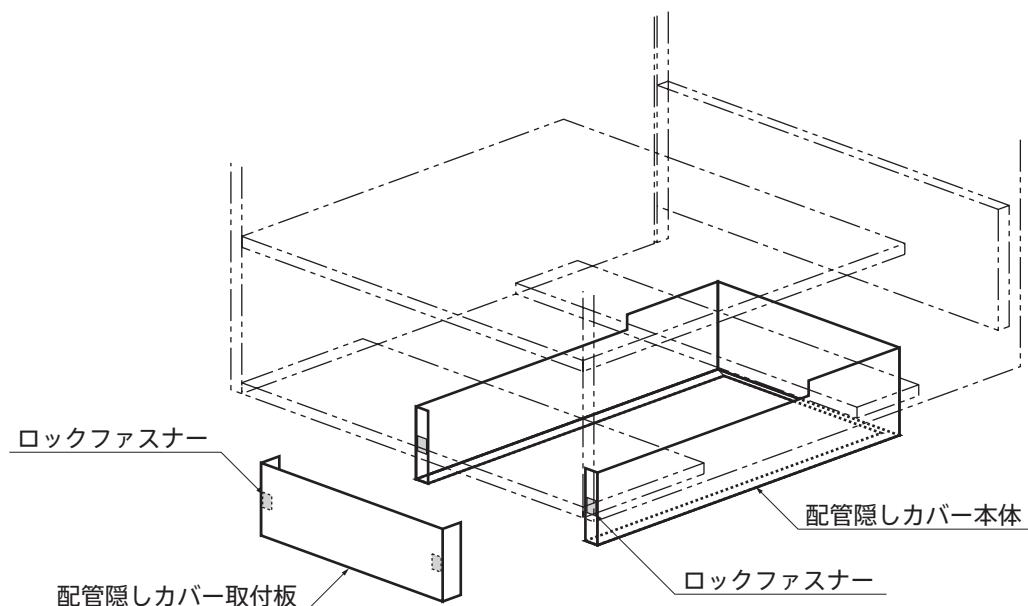
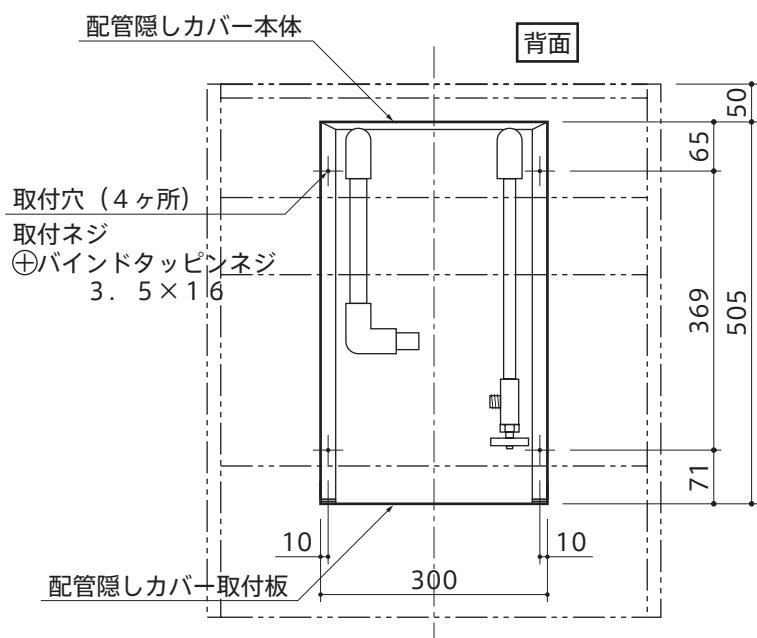


プルオープン食器洗い乾燥機ユニット配管隠しカバーの取付け【オプション】

※ 床立ち上げ配管専用です。

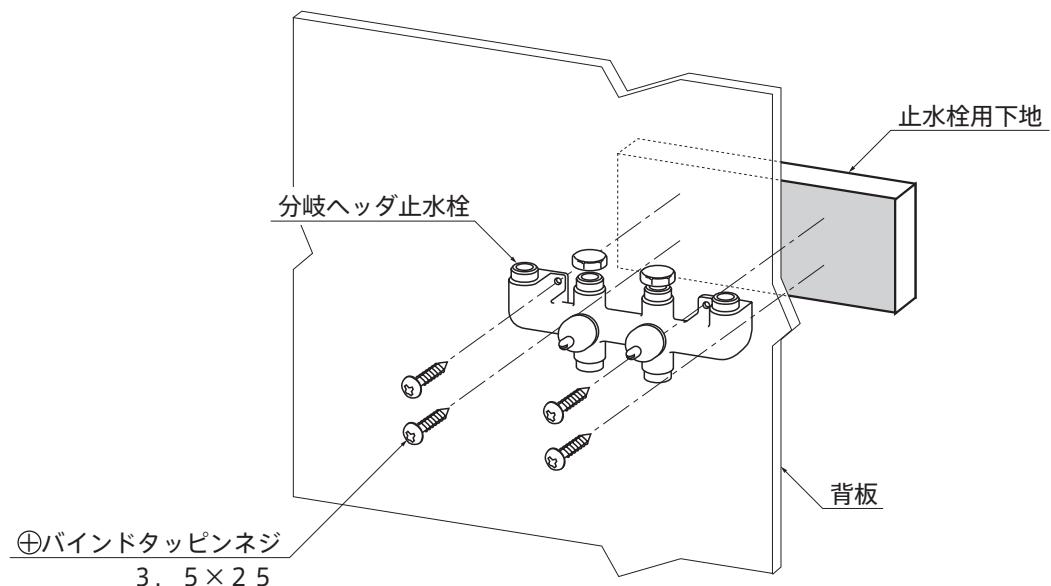
1. 配管隠しカバー本体を \oplus バインドタッピングネジ3. 5×16（4ヶ所）または、両面テープ（市販品）にて床の指定位置に固定します。
2. 配管隠しカバー取付板と配管隠しカバー本体のロックファスナー（2ヶ所）の位置を合わせ、前面から押さえて固定します。

納まり図



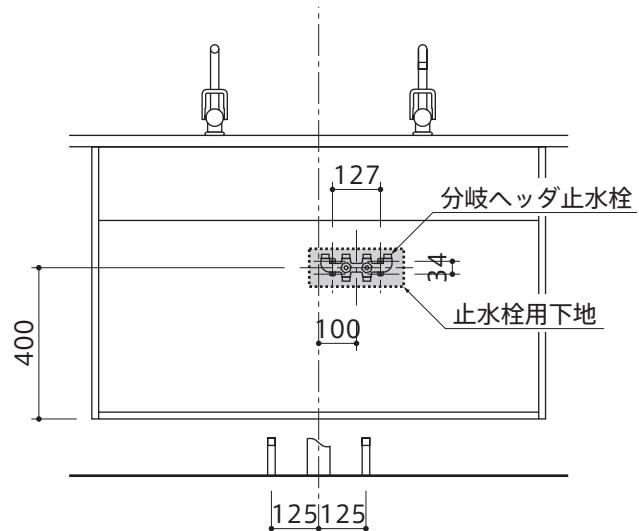
分岐ヘッダ止水栓の取付け【オプション】

- ・分岐ヘッダ止水栓はシングルレバー混合水栓の下側に取付けます。
- ・シンクユニット背面に止水栓用下地をあて、背板をはさみ込むようにしてユニット内側から分岐ヘッダ止水栓を \oplus バインドタッピングネジ 3.5×25 にて指定位置に取付けます。



分岐ヘッダ止水栓取付位置

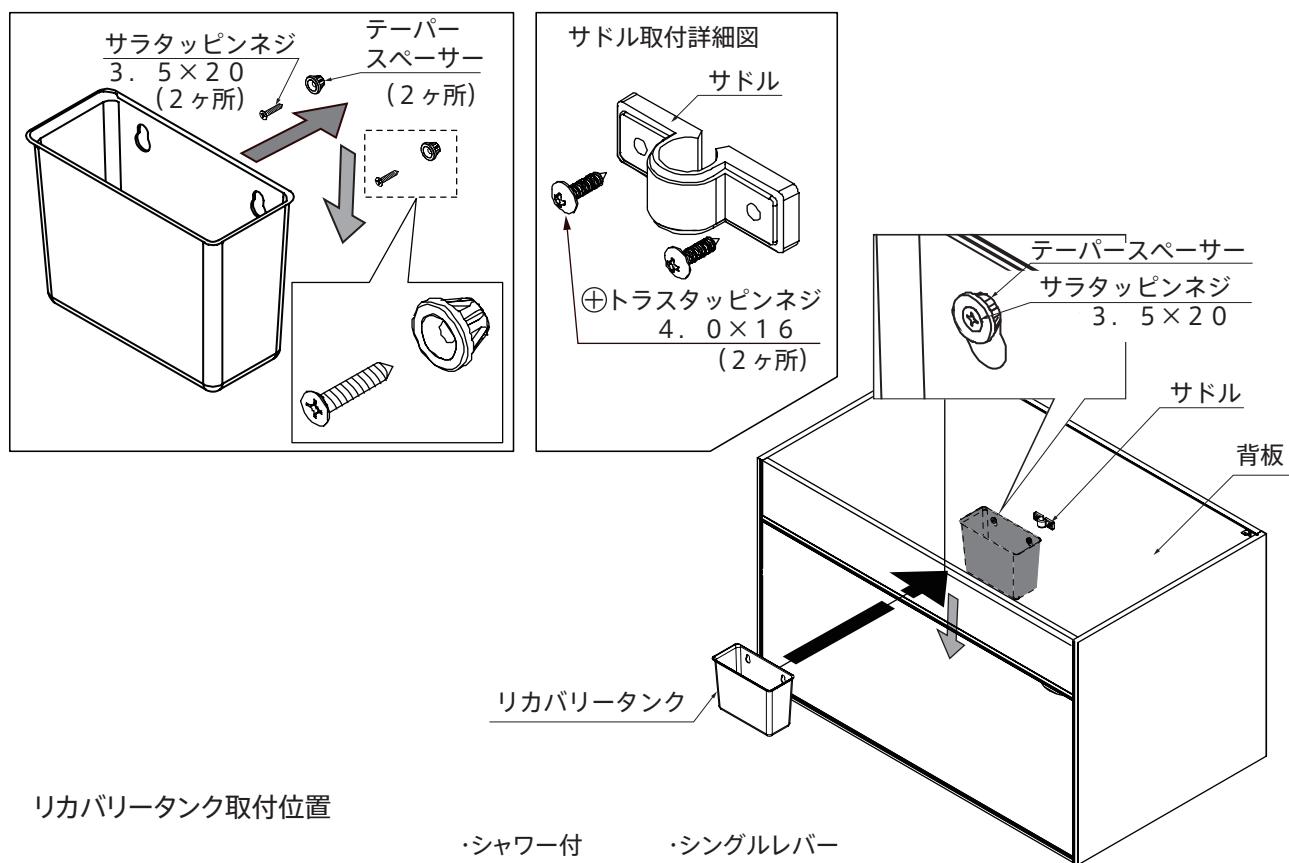
- ・シャワー付
シングルレバー
混合水栓
- ・シングルレバー
混合水栓
- ・メタルホース付
シングルレバー
混合水栓



リカバリータンクの取付け【オプション】

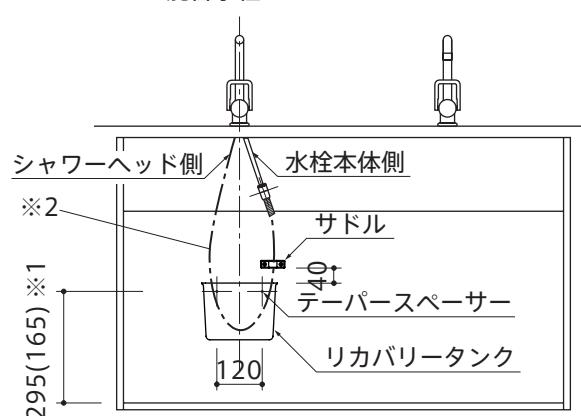
- ・リカバリータンクはシャワー付シングルレバー混合水栓、メタルホース付シングルレバー混合水栓の下側に取付けます。
- ・テーパースペーサー2個をサラタッピンネジ 3.5×20にて背板の指定位置に取付け、テーパースペーサーがリカバリータンクの穴上部分に収まるように、穴下部分に引っ掛けてからリカバリータンクを下方向に下げる固定します。
- ・サドルはホースの水栓本体側を固定します。取付位置はリカバリータンク端上部付近へ \oplus トラスタッピンネジ 4.0×16 (2本) で取付けます。

※サドル位置はシャワーを出し入れした際にホースがリカバリータンク内に収まるように調整して取付けてください。



リカバリータンク取付位置

- ・シャワー付
シングルレバー
混合水栓
- ・メタルホース付
シングルレバー
混合水栓
- ・シングルレバー
混合水栓



※1 () 内寸法は、メタルホース付シングルレバー混合水栓の場合を示す。

※2 ホースのねじれが無いことを確認してください。

クロスギャラリーの取付け（ブルム社製フルエクステンション引出しの場合）【オプション】

- ・クロスギャラリーのネジをゆるめます。 (図1)
- ・ギャラリーレールにクロスギャラリーを取付けます。 (図2、図3)
- ・クロスギャラリーのネジを締めます。 (図1)

※取り外す時は、逆の手順で行います。

図1

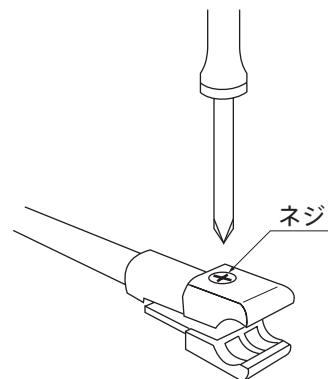
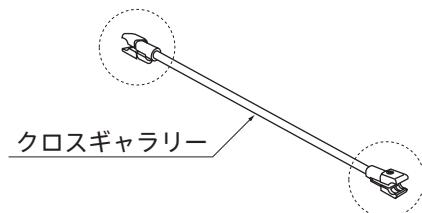


図2

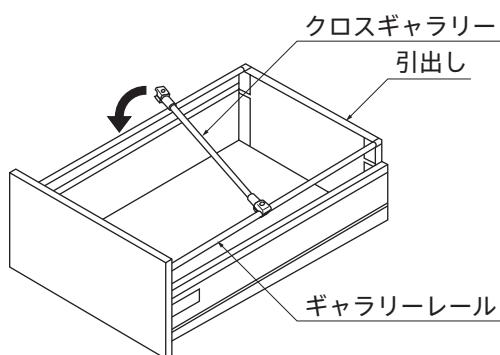
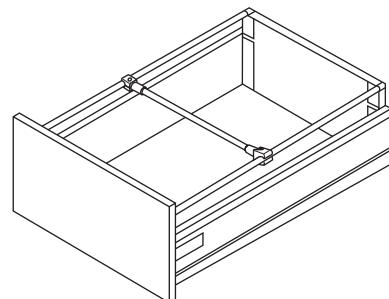
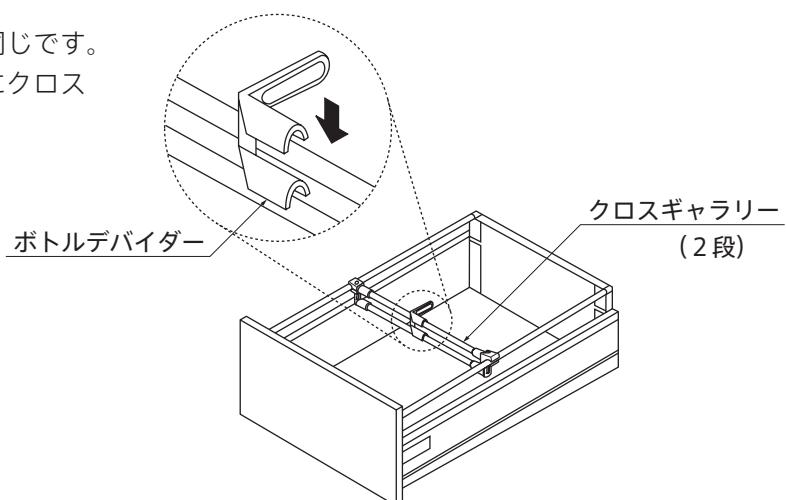


図3



■クロスギャラリー2段タイプ

- ・クロスギャラリー2段も上記の取付方法と同じです。
- ・ボトルデバイダーを上から落とし込むようにクロスギャラリー2段にはめ込みます。



照明器具・照明カバー [ステンレス製] の取付け【オプション】

1. 照明カバーを付属の \oplus トラスタッピンネジ3. 5×12にて図1の位置に取付けてください。
照明カバーはユニット前面（扉を含まない）より30mm、側面より0～1mm入った位置に取付けます。
なお、両面テープ（出るだけ薄いもの）を併用すると、位置合わせが簡単で正確に行えます。
2. 照明器具を付属の \oplus トラスタッピンネジ3. 5×12にて、図3の位置に取付けてください。

図1

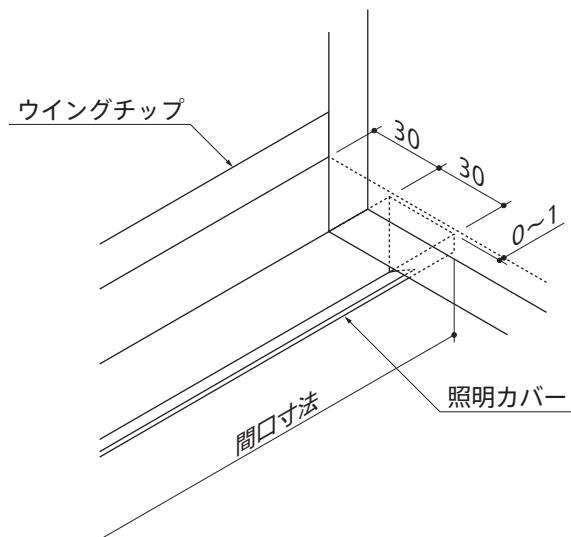


図2

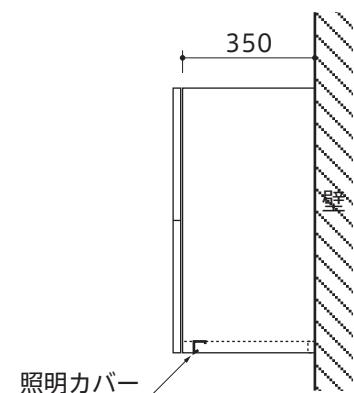
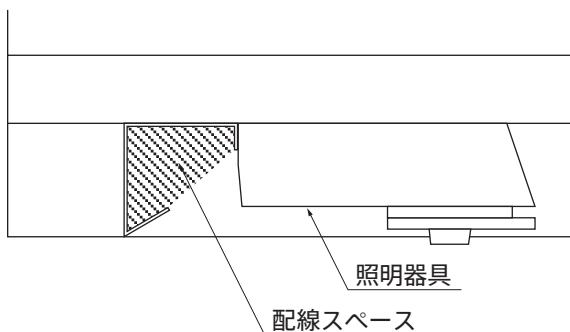


図3



取付・設置後の点検・清掃・養生

- ・「安全上のご注意」および説明書の内容通り取付・設置されているかを点検し、水漏れ等異常の無いことを確かめてください。
- ・表面の汚れ、ほこりを拭き取りながら、傷等の損傷が無いかを調べてください。
- ・ワークトップや扉等損傷する恐れのある部分は、必ず梱包材等を利用して養生してください。
- ・シンク・加熱機器等破損する恐れのある部分は、ビニール等で中が見えるように養生してください。
- ・養生に使うテープは、粘着力の弱いマスキングテープ等を使用してください。

商品名	システムキッチン 【i-kitchen PALETTE】 【i-kitchen PALETTE METAL】
ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分および下地部分とも F ☆☆☆☆☆
表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」 キッチンバス工業会 表示指針による
製造番号	本体に貼り付けの検査証をご確認ください
ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	化粧パネル (P B) F ☆☆☆☆☆ MDF F ☆☆☆☆☆ 合板 F ☆☆☆☆☆ 接着剤 F ☆☆☆☆☆

VOC放散性能	4 VOC基準適合 (木質建材)
表示ルール	「住宅部品VOC表示ガイドライン」による

※4 VOCとは、トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレンを示します。

トヨーキッチンホームページのオンラインショップ「SHOP TOYO KITCHEN」でオプションパーツをご購入いただけます。
詳しくは、store.toyokitchen.co.jpをご覧ください。

トヨーキッチンスタイルカスタマーサービス <https://www.toyokitchen.co.jp/ja/maintenance/>
トヨーキッチンスタイルカスタマーサービスでは、保証期間内、経過後のメンテナンスやパーツの販売を承ります。

お問い合わせ先

TEL 050-3852-2392 〈受付時間 平日9:00~18:00 (※土・日・祝日・夏期・年末年始は除く)〉
メール tks@toyo1.toyokitchen.co.jp
FAX 0575-23-1262

スマートフォンからでも
修理／メンテナンスの
依頼ができます。

アクセスはこちらから →

